VL-CM240
（屋外タイプ）

VL-CM260
（ライト付屋外タイプ）

品名 センサーカメラ
品番 VL-CM240 VL-CM260

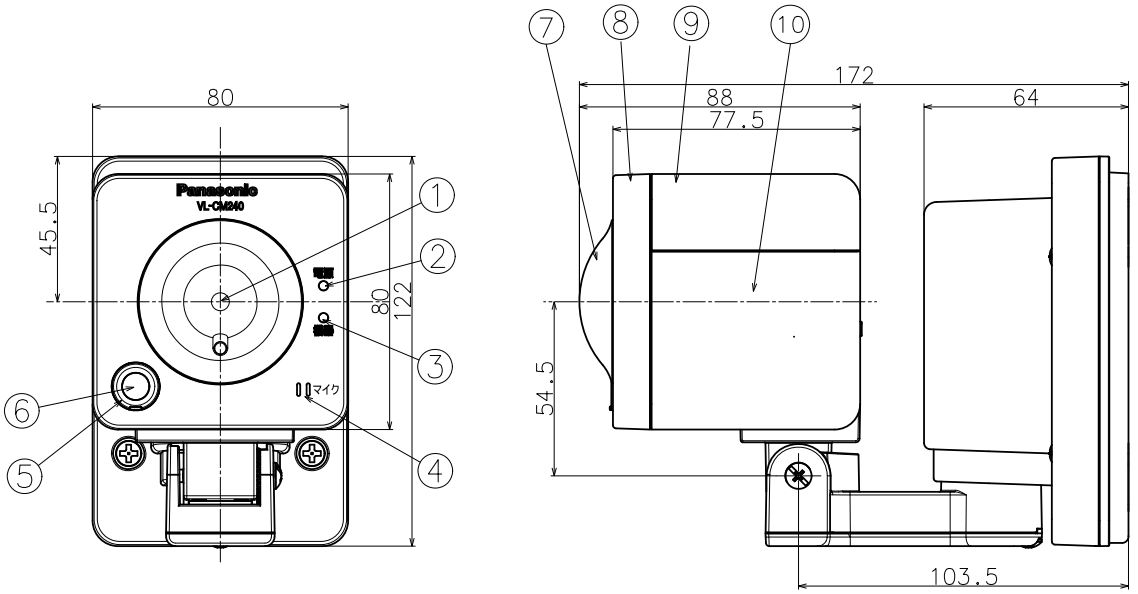
もくじ

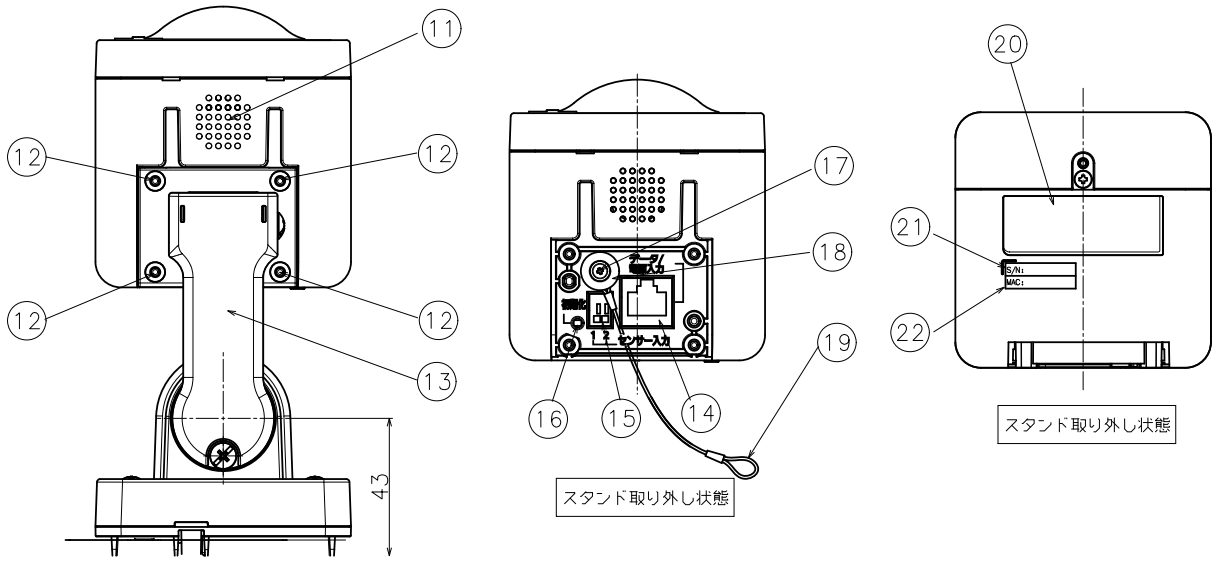
外形寸法 2
接続例 5
各部のなまえとはたらき 6
・VL-CM240本体 6
・VL-CM260本体 7
・送電装置 8
・インジケーターの表示について 9
仕様 10
別売品 11
特長 12
● 接続できる機器について 14
ご使用上のお願い 15
● セキュリティに関するお願い 15
● プライバシー・肖像権について 15
● その他 15
・商標/登録商標について 15
設置上のお願い 16
・工事について 16
・設置するとき 16
● 動作検知と人感(熱)センサーの検知範囲と特性 18
・動作検知について 18
・人感(熱)センサーについて 19
● 推奨する設置位置 21
● 設置例 22
● LEDライトの明るさについて 24
● 明るさ、距離の違いによる画像について 24
カメラを設置する 25
● カメラを取り付ける 25
● 屋内側のケーブル配線 30
・送電装置の取り付け方法 31
・外部入力端子について 33
● 動作検知および人感(熱)センサーの感度について 34
別売り品：**センサーカメラ用カメラカバー** ..... 追補

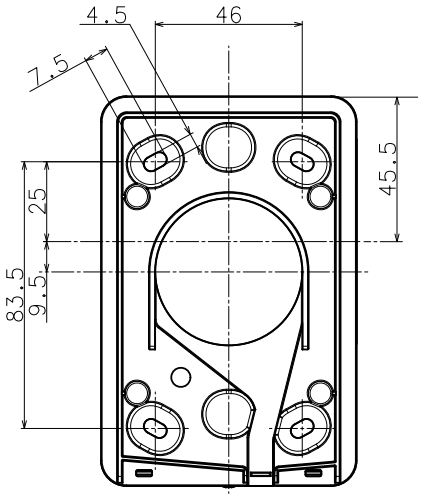
商品仕様書図	品名	センサーカメラ	品番	VL-CM240/VL-CM260	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年3月	変更	2010年6月	1/34

外形寸法

カメラ本体、スタンド (VL-CM240)



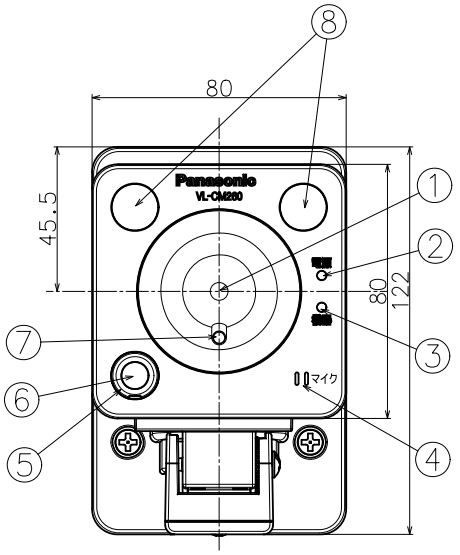


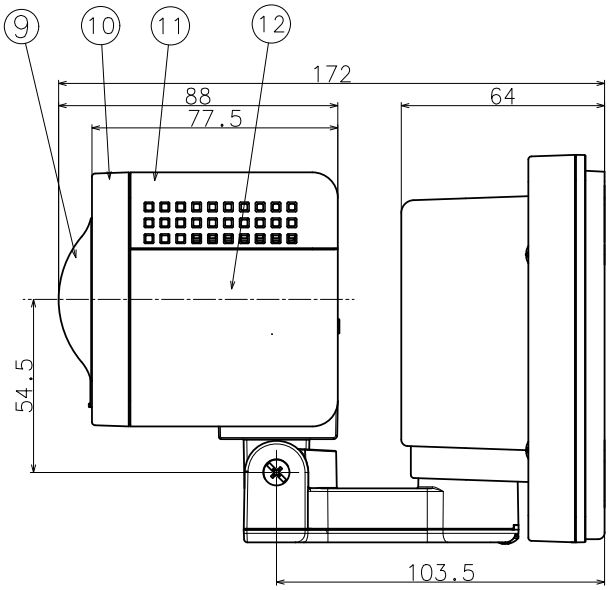


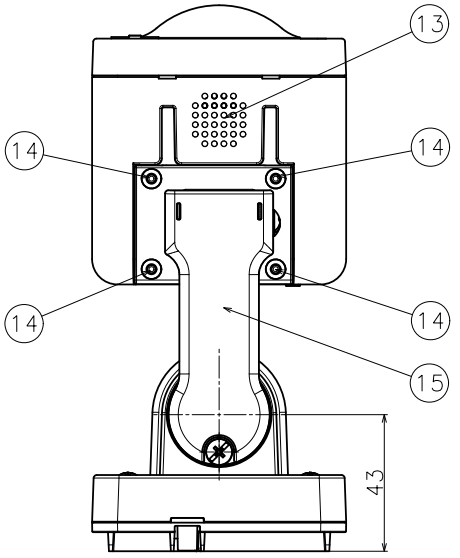
VL-CM240　　単位 [mm]

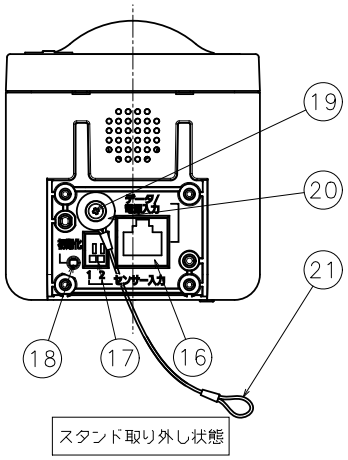
番号	名称	番号	名称
1	レンズ	12	本体とスタンド取り付けねじ
2	電源インジケーター	13	スタンド
3	機器インジケーター	14	データ/電源入力端子
4	マイク	15	外部入力端子
5	センサーキャップ	16	初期化ボタン
6	人感(熱)センサー	17	安全ワイヤー取り付け用ねじ
7	レンズカバー	18	安全ワイヤー取り付け用ねじ
8	フロントカバー	19	安全ワイヤー
9	リアカバー	20	銘板
10	リアキャビネット	21	シリアルNo. ラベル
11	スピーカー	22	MACアドレスラベル

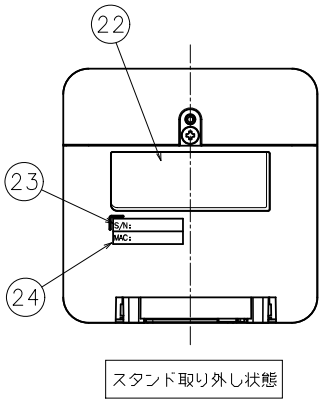
カメラ本体、スタンド (VL-CM260)

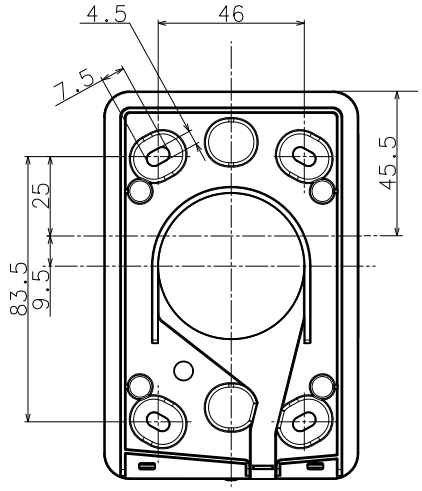










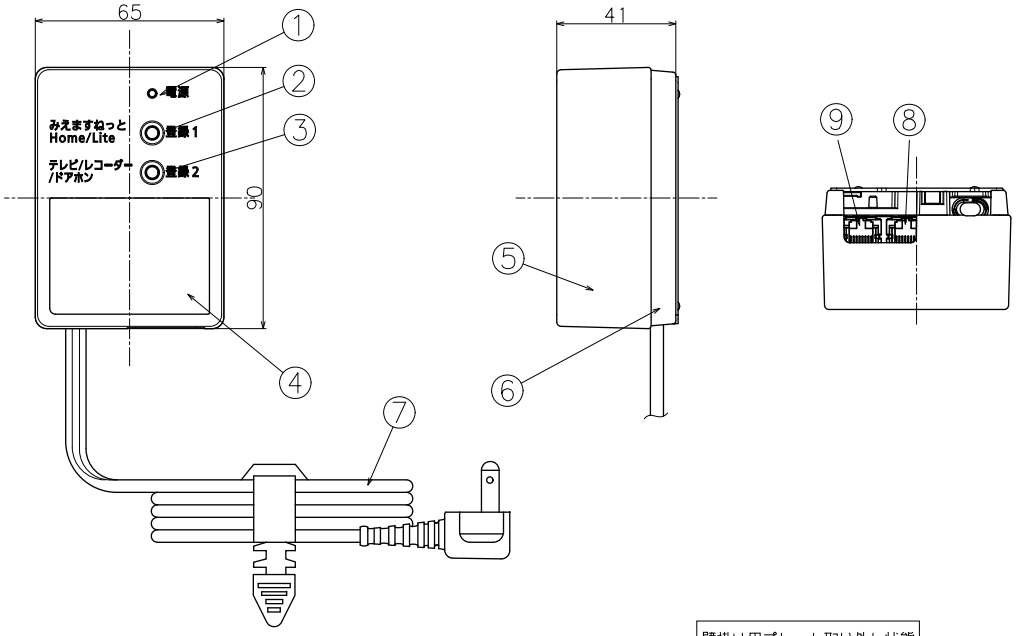


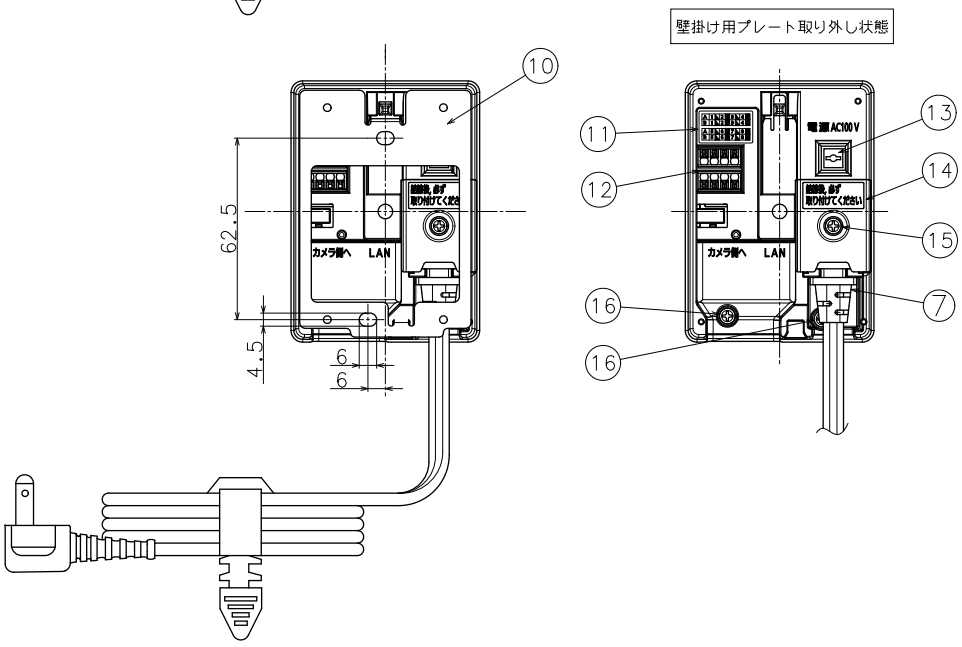
VL-CM260

単位 [mm]

番号	名称	番号	名称
1	レンズ	13	スピーカー
2	電源インジケーター	14	本体とスタンド取り付けねじ
3	機器インジケーター	15	スタンド
4	マイク	16	データ/電源入力端子
5	センサーキャップ	17	外部入力端子
6	人感(熱)センサー	18	初期化ボタン
7	明るさセンサー	19	安全ワイヤー取り付け用ねじ
8	LEDライト	20	安全ワイヤー取り付け用ねじ
9	レンズカバー	21	安全ワイヤー
10	フロントカバー	22	銘板
11	リアカバー	23	シリアルNo. ラベル
12	リアキャビネット	24	MACアドレスラベル

送電装置

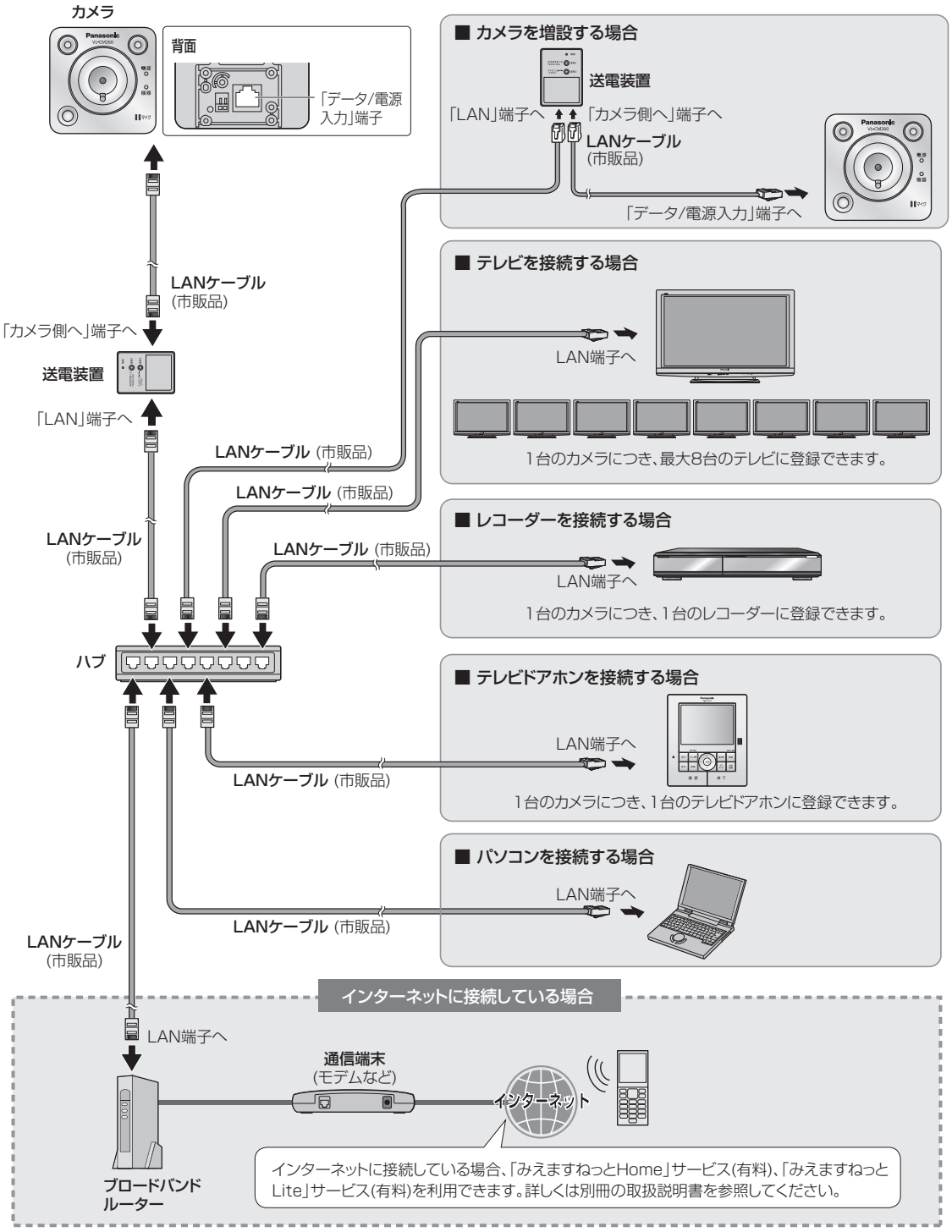




番号	名称	番号	名称
1	電源インジケーター	9	カメラ側へ端子
2	登録1ボタン	10	壁掛け金具
3	登録2ボタン	11	LANコネクタラベル
4	銘板	12	カメラ側直結端子
5	フロントキャビネット	13	電源線直結端子
6	リアキャビネット	14	ACコードカバー
7	ACコード (1.5 m)	15	ACコードカバー固定用ねじ
8	LAN端子	16	本体固定用ねじ

接続例

下図はカメラと各機器の接続の一例です。
- 複数の機器を接続する場合は、ハブまたはルーターを使用してください。
- 詳しい設置や接続の方法については、設置説明書を参照してください。

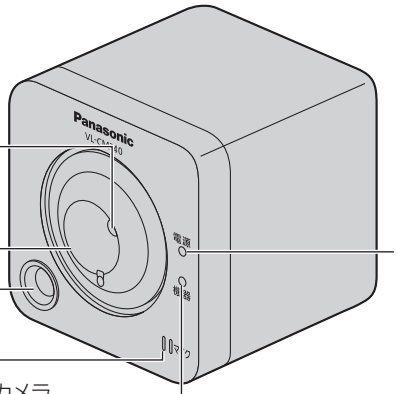


《お願い》
- 送電装置は独自方式で、PoE (Power over Ethernet)ではありません。カメラ本体をPoEハブには接続しないでください。
- カメラと送電装置の間にはハブまたはルーターを接続しないでください。
- カメラから送電装置までのLANケーブルの長さはVL-CM240で**60 m以内**、VL-CM260で**30 m以内**となるようにしてください。
- LANケーブルはストレートケーブル (カテゴリー5以上) を使用してください。
- 接続できる機種については14ページを参照してください。
- くらし安心ホームパネル、宅内コントロールアダプタを使って各機器を接続する場合は、くらし安心ホームパネル、宅内コントロールアダプタの取扱説明書をご覧ください。

各部のなまえとはたらき

VL-CM240本体

≪正面≫



レンズ
(フォーカス範囲:
0.3 m ～∞)

レンズカバー

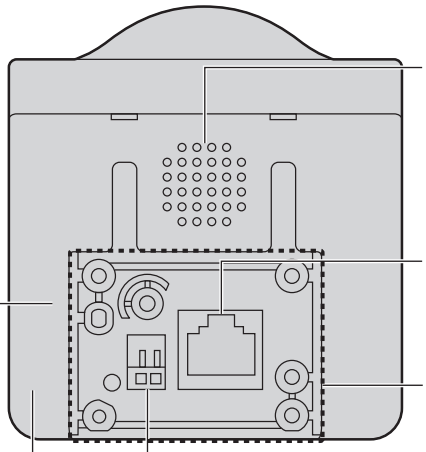
人感(熱)センサー
(取扱説明書☞17ページ)

マイク
カメラの内蔵マイクを使って、カメラ付近の音声をH.264対応テレビのスピーカーで聴くことができます。また、H.264対応レコーダーで録音することもできます。

電源インジケーター
カメラの状態やLANケーブルとカメラの接続状態を表示します。
(取扱説明書☞25ページ)

機器インジケーター
各機器の登録状態やセンサー検知の通知状態を色で表示します。
(取扱説明書☞25ページ)

≪底面≫



スピーカー
カメラ画面からお知らせ音を鳴らしたり、検知したときにお知らせ音を鳴らすことができます。
(取扱説明書☞61ページ)

データ/電源入力端子

安全ワイヤー取付口

スタンド取付部

初期化ボタン
カメラの設定を工場出荷値に戻します。(取扱説明書☞84ページ)

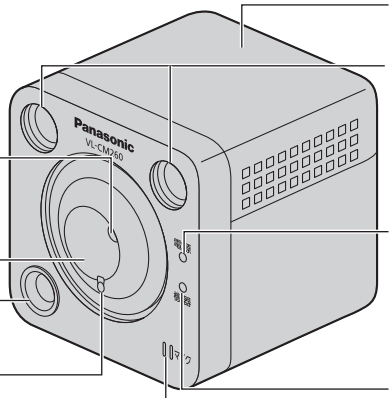
外部入力端子
外部センサーなど外部機器を使うときに使用します。

《お知らせ》

● 製造番号(S/N)、MACアドレスは本体背面のラベルを確認してください。

VL-CM260本体

≪正面≫



放熱用アルミダイカスト部

LEDライト
LEDライトの点灯のしかたは照明設定画面で切り換えることができます。(取扱説明書☞69ページ)

レンズ
(フォーカス範囲:
0.3 m ～∞)

レンズカバー

人感(熱)センサー
(取扱説明書☞17ページ)

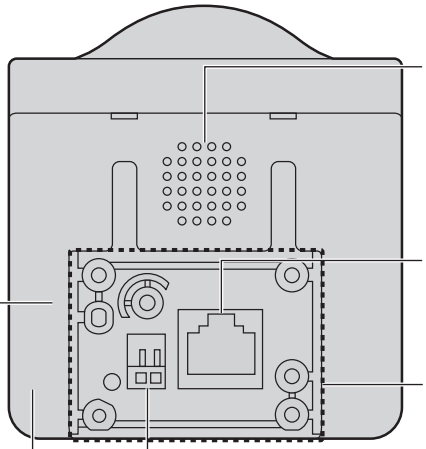
明るさセンサー
カメラの周りの明るさを検知します。暗くなると自動的にLEDライトが点灯するように設定できます。(取扱説明書☞ 69ページ)

電源インジケーター
カメラの状態やLANケーブルとカメラの接続状態を表示します。(取扱説明書☞ 25ページ)

機器インジケーター
各機器の登録状態やセンサー検知の通知状態を色で表示します。(取扱説明書☞ 25ページ)

マイク
カメラの内蔵マイクを使って、カメラ付近の音声をH.264対応テレビのスピーカーで聴くことができます。また、H.264対応レコーダーで録音することもできます。

≪底面≫



スピーカー
カメラ画面からお知らせ音を鳴らしたり、検知したときにお知らせ音を鳴らすことができます。(取扱説明書☞61ページ)

データ/電源入力端子

安全ワイヤー取付口

スタンド取付部

初期化ボタン
カメラの設定を工場出荷値に戻します。(取扱説明書☞84ページ)

外部入力端子
外部センサーなど外部機器を使うときに使用します。

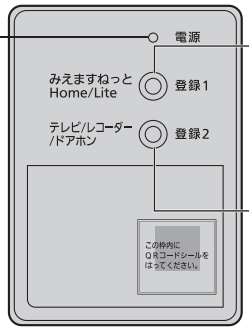
《お知らせ》

● 製造番号(S/N)、MACアドレスは本体背面のラベルを確認してください。

送電装置

LANケーブルで、DC電源をカメラに供給します。

≪正面≫



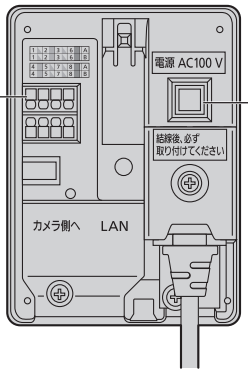
電源インジケーター
電源とカメラの状態を表示します。
(取扱説明書☞ 25 ページ)

登録 1 ボタン
「みえますねっと Home/ みえますねっと Lite」サービスに申し込む場合に使います。
(☞ みえますねっと Home/ みえますねっと Lite ガイド)

登録 2 ボタン
カメラを登録モードに切り替えます。

● リセット(再起動):登録1ボタンと登録2ボタンを同時に3秒以上押すと、送電装置のリセット(再起動)を行います。カメラも再起動します。

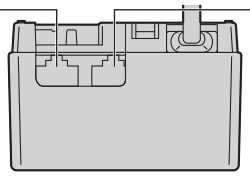
≪背面≫



カメラ側直結端子
コネクターがついていない LAN ケーブルを接続するときに使用します。(☞30 ページ)

電源線直結端子
電源線を直結で接続する場合に使用します。
直結接続で使用する場合、接続工事には電気工事士の資格が必要です。(☞32 ページ)

≪底面≫



カメラ側へ端子
カメラ側に接続する端子です。

LAN 端子
ハブまたはブロードバンドルーターや各機器に接続する端子です。

《お願い》

● 「カメラ側へ」端子(底面)には、カメラに接続されているLANケーブル以外を接続しないでください。
● カメラからのLANケーブルは「カメラ側直結」端子(背面)または「カメラ側へ」端子(底面)のどちらか一方にのみ接続できます。
● 「カメラ側へ」端子(底面)とカメラ本体の「データ/電源入力」端子間はカテゴリー5のストレートLANケーブルを使用してください。クロスケーブルを使用した場合、カメラに電源が入りません。
● カメラから送電装置までのLANケーブルの長さはVL-CM240で**60 m以内**、VL-CM260で**30 m以内**となるようにしてください。
● 送電装置とカメラ間を接続する場合のLANケーブルには、標準のLANケーブル※より柔軟性や使いやすさを重視した抵抗値の大きいフラットLANケーブルや細いLANケーブル、あるいは内部の芯線が4芯のLANケーブルは使用できません。
※ 標準のLANケーブル:
100 mの長さでカテゴリー5の特性を保証できるもの(芯線1本当りの抵抗値が100 mで約9 Ωであるもの)

インジケーターの表示について

カメラの機器インジケーターと電源インジケーター、送電装置の電源インジケーターともに、色と点灯、点滅、消灯によりカメラの状態を示します。

■ 電源インジケーター(カメラ)

インジケーター表示	カメラの状態
オレンジ点滅→緑点滅→緑点灯	電源投入時に、ネットワーク接続
緑点灯	待機中または通信中
早い緑点滅	みえますねっとHome/みえますねっとLite登録処理中
オレンジ点灯	ネットワーク未接続
オレンジ点滅	ネットワーク未接続、またはバージョンアップ中
オレンジ点滅→消灯	初期化ボタンを押下 (約1分後に再起動)
赤点灯	かくれんズ中
赤点滅	異常 (カメラが故障)

■ 機器インジケーター(カメラ)

テレビドアホン(VL-SWN350KL,VL-SWN355KL)に接続したときは、テレビドアホンの取扱説明書および、画面をご確認ください。

インジケーター表示	カメラの状態
緑点灯	正常 (カメラからのセンサー検知通知を、各機器で受信可)
消灯	·未登録 (カメラが各機器に登録されていない) ·設置確認画面表示中
オレンジ点滅	登録モード中 (カメラを各機器に登録可能)
オレンジ点灯	カメラからのセンサー検知通知を、各機器で受信不可
赤点滅※1	登録失敗 (カメラの各機器への登録失敗)

※1：設置確認画面でセンサー検知すると赤点滅します。

■ 電源インジケーター(送電装置)

インジケーター表示	カメラの状態
オレンジ点灯	カメラ未接続時
オレンジ点滅※2 (1秒間に1回)	登録モード中 (カメラを各機器に登録可能)
オレンジ点滅(1秒間に2回)	異常状態(異常電圧検知)
緑点灯	通常モード(カメラ接続確認完了)
緑点滅※2	登録ボタン押下後、みえますねっとHome/みえますねっとLite登録中
緑とオレンジの交互点滅	電源供給時の異常
赤点灯	異常状態(異常電圧検知時)

※2：カメラの設定画面より登録モード、または、みえますねっとLiteに登録した場合、送電装置インジケーターはオレンジ点滅または緑点滅には変わりません。

仕様

■ カメラ本体

	VL-CM240	VL-CM260
撮像素子	1/4インチ　約32万画素CMOSイメージセンサー	
対応照度	3ルクス～10,000ルクス（カラーナイトビュー：自動設定の場合）	
ホワイトバランス	自動	
レンズ焦点	固定焦点	
フォーカス範囲	0.3 m～∞	
レンズ　F No.	F2.8	
画角	水平：58°　垂直：45°	
露光制御	AE	
明るさ	9段階	
インジケーター	電源インジケーター、機器インジケーター	
外部入力端子	入力1 系統※1	
マイク入力・お知らせ音	本体内蔵	
防水性	防まつ構造(JIS C0920　防水保護等級4)※2	
外形寸法(高さ、幅、奥行)	約80 × 80 × 88 mm (ドーム部を含む)	約80 × 80 × 88 mm (ドーム部を含む)
質量(本体のみ)	約230 g	約365 g
消費電力	待機時：2.9 W 動作時：3.0 W	待機時：2.9 W 動作時：3.0 W（ライト消灯時） 動作時：7.0 W（ライト点灯時）
動作温度	-20 ℃～50 ℃	
動作湿度	20 %～90 %(結露なきこと)	

※1 詳細については、設置説明書をご覧ください。
※2 設置説明書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ。

■ 受信画像および音声

	VL-CM240	VL-CM260
画像圧縮方式	動画：H.264 連続静止画・静止画：JPEG(ベースライン規格準拠)	
画像解像度	H.264：640×480ドット、600×450ドット JPEG：640×480ドット、600×450ドット、320×240ドット	
最大フレームレート (画像更新速度)※3	テレビ H.264：約30フレーム/秒、JPEG：約1フレーム/秒 レコーダー録画 H.264：約30フレーム/秒、JPEG：約12フレーム/秒 テレビドアホン JPEG：約9フレーム/秒(モニター時) パソコン JPEG：約3フレーム/秒	
音声圧縮方式	MPEG-2 AAC (AAC-LC) 64 Kbps	

※3 各機器の機種やお使いの環境により変わることがあります。

■ ネットワーク通信

	VL-CM240	VL-CM260
通信プロトコル	IPv4 (TCP、UDP、IP、HTTP、DHCP、DNS、ARP、ICMP、UPnP)	
インターフェース	10Base-T/100Base-TX	
ネットワーク	RJ-45	
LANケーブル配線長	送電装置から本体まで約60 m以内 トータル約100 m以内	送電装置から本体まで約30 m以内 トータル約100 m以内

■ 検知

	VL-CM240	VL-CM260
センサー検知方式	焦電型赤外線センサー(人感(熱)センサー)および動作検知	
センサー検知範囲※4	距離約5 m（人感(熱)センサーの場合は周囲温度20℃時） 動作検知の場合：水平方向 約58°、垂直方向 約45° 人感(熱)センサーの場合：水平方向 約63°、垂直方向 約20°	

※4　センサー検知範囲はめやすです。カメラ設置場所の周囲温度や環境により、検知範囲は変わります。
詳しくは設置説明書をご覧ください。

■ 照明

	VL-CM260
LED ライト※5	白色LED 2個

※5　正面3 mで約8.5ルクス、正面から左右20°/3 mで約2.5ルクス

■ 送電装置

	VL-CM240	VL-CM260
電源	専用送電装置 (品番PNLP2176JPZ)（コード長約1.5 m) 入力：AC 100 V、50/60 Hz 出力：DC12 V	
外形寸法(高さ、幅、奥行)	約90 × 65 × 41 mm (突起部を除く)	
質量	約215 g	
動作温度	0 ℃～40 ℃	
動作湿度	20 %～80 %(結露なきこと)	
インジケーター	電源インジケーター	

別売品

ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

2009年1月現在

製品名	品番	希望小売価格(税込)
屋内LANケーブル(2 m)	VL-N0020※1	735円
屋外設置用ケーブルキット	VL-CMA20	8,400円

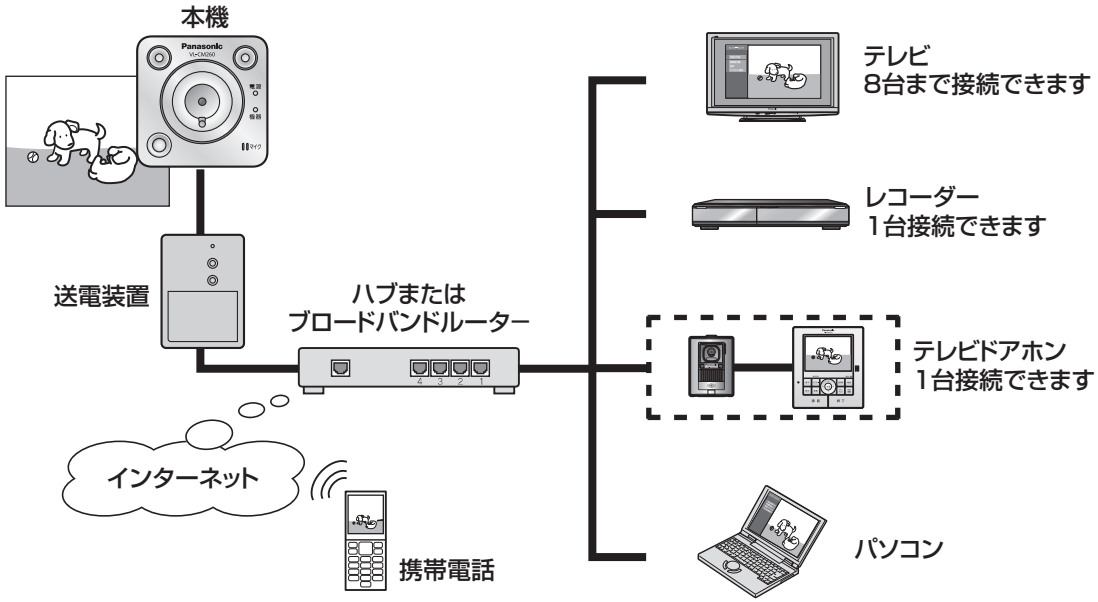
詳しくは、パナソニックの商品情報サイト
http://panasonic.jp/door/sensor/ を参照してください。

※1 お買い上げの販売店にてお取り寄せとなります。

特長

カメラの画像は、次の各機器を使って見たり録画したりすることができます。

■ テレビ、テレビドアホン、携帯電話やパソコンにカメラ画像を表示、レコーダーやテレビドアホンで画像を録画



- ●くらし安心ホームパネル、宅内コントロールアダプタを使って各機器を接続する場合は、くらし安心ホームパネル、宅内コントロールアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- ● 携帯電話で画像を見る場合は、カメラをインターネットに接続できる環境と「みえますねっとHome」サービス(有料)や「みえますねっとLite」サービス(有料)への申し込みが必要です。(取扱説明書☞47ページ)
- ● イラストはイメージです。詳しくは登録ガイドの「接続例」(取扱説明書☞6ページ)を参照してください。
- ● H.264対応※のテレビやレコーダー(取扱説明書☞4ページ)の場合、滑らかなカメラ映像を見ることができます。

  ※H.264とは、少ないデータ量で動画を伝送するための動画圧縮方式です。

■ 各機器でできること

テレビ 	● 見たいときにカメラの画像が見れる※1 ● センサー検知時にカメラの画像が見れる※1 ● カメラにお知らせ音を鳴らしてお知らせできる
レコーダー 	● センサー検知時にカメラの画像を録画できる※2
テレビドアホン 	● 見たい時にカメラの画像が見れる ● センサー検知時にカメラの画像が見れる ● センサー検知時にカメラの画像を録画できる※3
携帯電話 	■「みえますねっとHome」サービス(有料)に加入の場合 ● 見たい時にカメラの画像が見れる※3 ● センサー検知時に携帯電話にメールで通知があり、サーバーに自動保存された検知時の画像が見れる※3 ● カメラにお知らせ音を鳴らしてお知らせできる ● カメラの操作や基本的な設定ができる ■「みえますねっとLite」サービス(有料)に加入の場合 ● センサー検知時に携帯電話にメールで通知があり、サーバーに自動保存された検知時の画像が見れる※3 携帯電話でカメラの画像を見るには、カメラをインターネットに接続できる環境と「みえますねっとHome」や「みえますねっとLite」への申し込みが必要です。(取扱説明書 ☞47ページ)
パソコン 	● 見たいときにカメラの画像が見れる※4 ● カメラにお知らせ音を鳴らしてお知らせできる

※1：H.264対応テレビでは動画(音声付き)が見れます。
　　動画(音声付き)は最大4台まで表示できます。(5台目以上は、連続静止画のみ表示されます。)
　　レコーダーが登録されている場合は、表示できる動画(音声付き)は最大3台になります。
※2：H.264対応レコーダーでは動画(音声付き)が録画できます。
※3：画像は静止画です。
※4：画像は連続静止画です。

接続できる機器について

このカメラは、下記のパナソニック(株)製の各機器(テレビ、レコーダー、テレビドアホン)、パナソニック電工(株)製のくらし安心ホームパネル、宅内コントロールアダプタ、下記の仕様の携帯電話、パソコンに接続できます。(2009年1月現在)

テレビ(ビエラ)

デジタルハイビジョンテレビ
X1シリーズ※1、※2
Z1シリーズ※1、※2
V1シリーズ※1、※2
G1シリーズ※1、※2
C1シリーズ※2
F1シリーズ※2
PZR900シリーズ
PZ800シリーズ
PZ85シリーズ
PZ80シリーズ
LZ85シリーズ
LZ80シリーズ
PX80シリーズ
LX80シリーズ
LX8シリーズ
※1 H.264対応テレビ
※2 2009年2月以降発売予定

テレビドアホン

VL-SWN350KL
VL-SWN355KL

レコーダー(ディーガ)

ブルーレイディスクレコーダー
DMR-BW950※1、※2
DMR-BW850※1、※2
DMR-BW750※1、※2
DMR-BW930
DMR-BW830
DMR-BW730
DVDレコーダー
DMR-XW320
DMR-XW120
※1 H.264対応レコーダー
※2 2009年2月以降発売予定

くらし安心ホームパネル

接続できる機器の品番は、パナソニックのサポートウェブサイトをご覧ください。

宅内コントロールアダプタ

MKN15

携帯電話

携帯電話でカメラの画像を見るには、以下の機能が必要です。
- 320x240(QVGA)以上のJPEG画像表示に対応
- NTTドコモ製、au(KDDI)製、SoftBank製のウェブブラウザを搭載していること(iPhoneなどのスマートフォン除く)

《お知らせ》
- 接続できる機器についての最新情報は、パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.co.jp/pcc/products/sensor/support/index.html)を参照してください。

パソコン

- カメラに接続できるパソコンに以下の動作環境が必要です。

OS ..... 日本語 Microsoft® Windows Vista®、Microsoft® Windows® XP
CPU※..... Pentium® 4 (3 GHz)以上
プロトコル ..... TCP/IP(HTTP、TCP、UDP、IP、DNS、ARP、ICMP)プロトコルがインストールされていること
インターフェース..... 10/100 MbpsのLANカードが装備されていること
ウェブブラウザ..... Internet Explorer® 6.0(日本語版)以降

※ ここに記載しているCPUよりも性能が低いCPUの場合、画像更新速度は落ちます。

《お知らせ》
- 各機器で画像を同時に参照した場合やお使いのネットワーク環境により、動画の画質が落ちることや音声が途切れることがあります。

ご使用上のお願い

セキュリティに関するお願い

カメラをご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されますので、セキュリティ対策を十分に行ってください。

- カメラを経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者によるカメラの不正操作
- 悪意の第三者によるカメラの妨害や停止

行うべきセキュリティ対策は下記のとおりです。

- **インターネットからの不正な攻撃から守るため、最新のファームウェアを入手してバージョンアップする。バージョンアップを怠ると、アクセスできなくなったり、情報の漏えいにつながる場合があります。 バージョンアップするにはパソコンが必要です。**(取扱説明書☞85ページ)
- **パソコンを使ってカメラへアクセスするためのユーザー名/パスワード、カメラに対する設定情報や利用情報(カメラ画像・音声)は、お客様の責任管理下にあります。それらの情報が、第三者に漏れないように適切に管理してください。**
- **カメラを盗難に遭いにくい場所に設置する。**
- **以下のような場合は、カメラを初期化して工場出荷値に戻す。**(取扱説明書☞83ページ)

- 当社が関与できない外部業者に修理を依頼するとき。
- 他人に譲渡するとき。
- 廃棄するとき。

プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー(マイク内蔵モデルにあっては、マイクで拾われる音声に対するプライバシーを含む)、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

その他

- 設置説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- カメラの使用が終了されましたら、万一の場合の落下防止のため、放置せず速やかに撤去してください。

商標/登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows VistaおよびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- Microsoft Corporationのガイドラインにしたがって、画面写真を使用しています。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

設置上のお願い

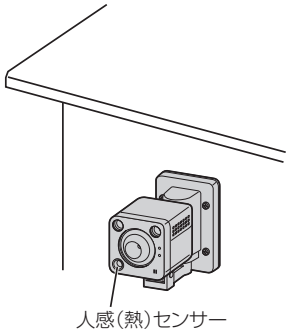
工事について

電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
- 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)に容易に手が届くこと。
- 3 mm 以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
  ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

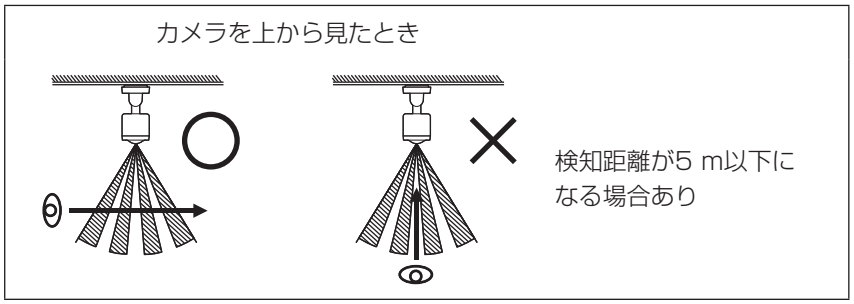
本機は電気設備技術基準による施工を行ってください。
- 電源を直結する場合は、電源線とその他の信号配線材の間に堅牢な間壁を設ける。
- 配線材はAC600 V以上の絶縁電線を使用する。

設置するとき

本製品は直射日光や雨どいなどから直接水がかかるところを避けて設置してください。
また、設置の際は、次の点にご注意ください。
- ご使用上のお願い(取扱説明書 ☞ 13ページ)を確認してください。
- 天井には、取り付けないでください。
- カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。



〔人感(熱)センサーは横からの動きによる温度変化を検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなります。**詳しくは、20 ページを参照してください。**〕

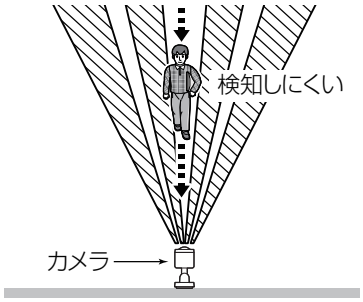


- 隣家と近接した場所に設置するときは、LEDライトの光(VL-CM260)が隣の家に迷惑をかけないようにカメラ角度を調整してください。

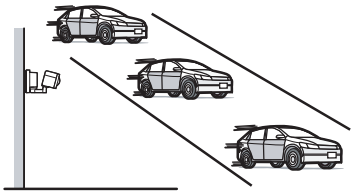
《お知らせ》
- 動作検知、人感 (熱) センサーは、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、動作検知、人感 (熱) センサーを使わないことをお勧めします。
- センサーを使うことによって生じた事故などの結果について、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

■ こんなところには設置しない(誤動作、変形、故障の原因)

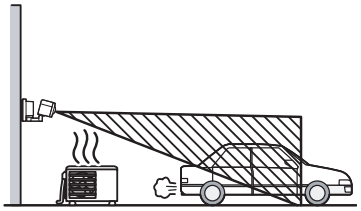
● **真正面から人物が近づいてくるような場所**
(狭い通路などで、人が真正面から近づいてくるような場所)
➔ 18、20 ページを参照してください。



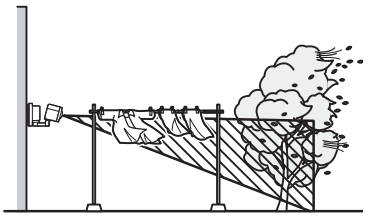
● **車の交通量が多い道路がある場所**
(約5 m以上離れていても、車にはセンサー反応します。)



● **換気扇、エアコンの室外機、給湯器などの風や、車の排気ガスなどの影響を受ける場所**
(急激な温度変化により、誤検知しやすくなります。)

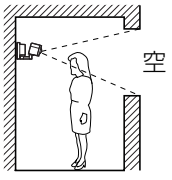


● **風などで動くような植木、洗濯物などがある場所**
(動作検知が誤検知しやすくなります。)

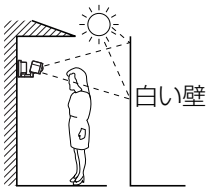


● 直射日光があたる場所や外灯の真下など、周囲の温度が高くなる場所
● 振動・衝撃や、反響の多い場所
● 火気・熱器具や、磁石などの磁気の近く
● 前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
● 油汚れがついたり、蒸気がかかる場所
● 携帯電話など強い電波を発する製品の近く
● 硫化水素、リン、アンモニア、炭素、酸、ほこり、有毒ガスなどの発生する場所
● 海岸の近くや直接潮風があたる場所、温泉地の硫黄環境
(塩害などにより製品寿命が短くなることがあります。)
● 昼間でも木陰などで影になったり、夜でも外灯で明るくなるなど、明るさが変わりやすい場所
● 下記のように逆光になる場所(人の顔が暗く映り、判別しにくくなります。)

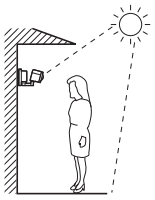
マンションの階上など、背景に空の占める割合の
大きい場所



正面に、直射日光が反射する白壁がある場所



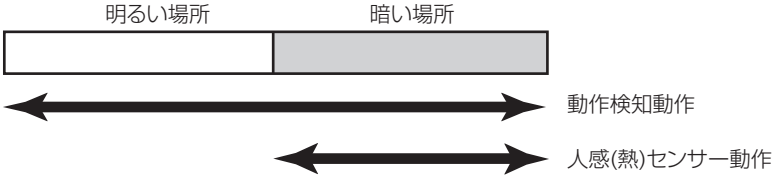
直射日光が当たるような、明るい場所



動作検知と人感(熱)センサーの検知範囲と特性を理解したうえで、適切な場所にカメラを設置してください。

動作検知と人感(熱)センサーの検知範囲と特性

動作検知および人感(熱)センサーの動作は、明るさにより異なります。

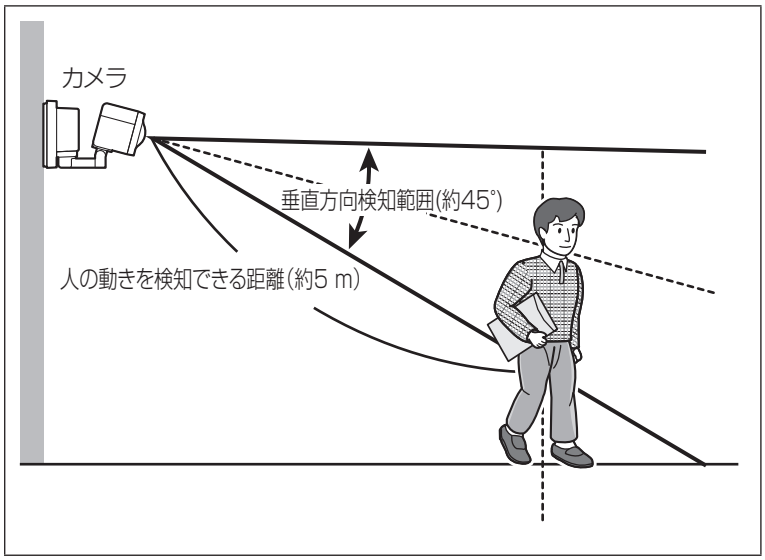


- 明るさの判断は、画像の明るさに応じてカメラが自動で行います。

動作検知について

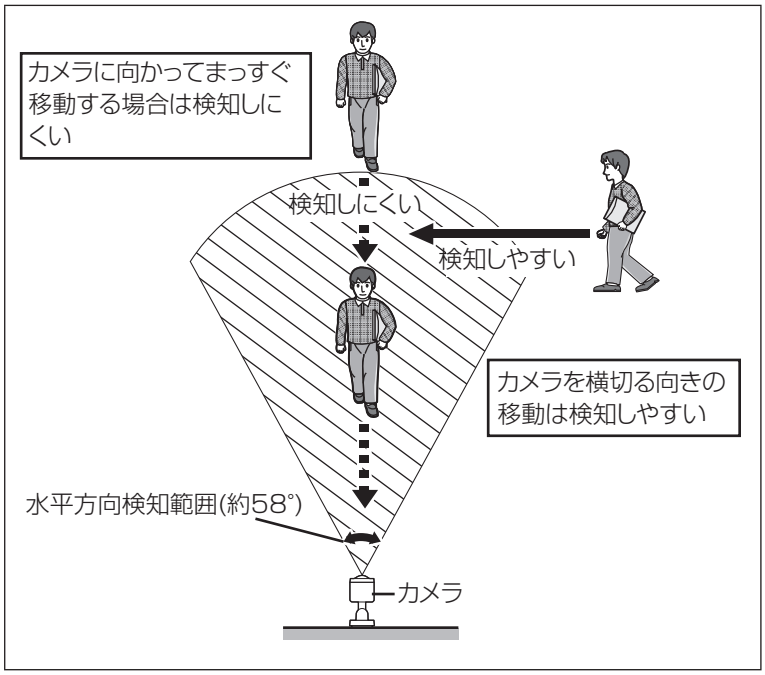
カメラが撮影した画像内の変化を検知します。

■ 動作検知の検知範囲



- 動いている被写体と背景の色が似ているときは、動作を正しく検知しない場合があります。
- 外部照明の点灯時など、全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知する場合があります。
- LEDライトの点灯/消灯の直後最長2秒間は、動作検知が動作しません。(VL-CM260)

■ 動作検知の特性 (検知しやすい向き、検知しにくい向き)



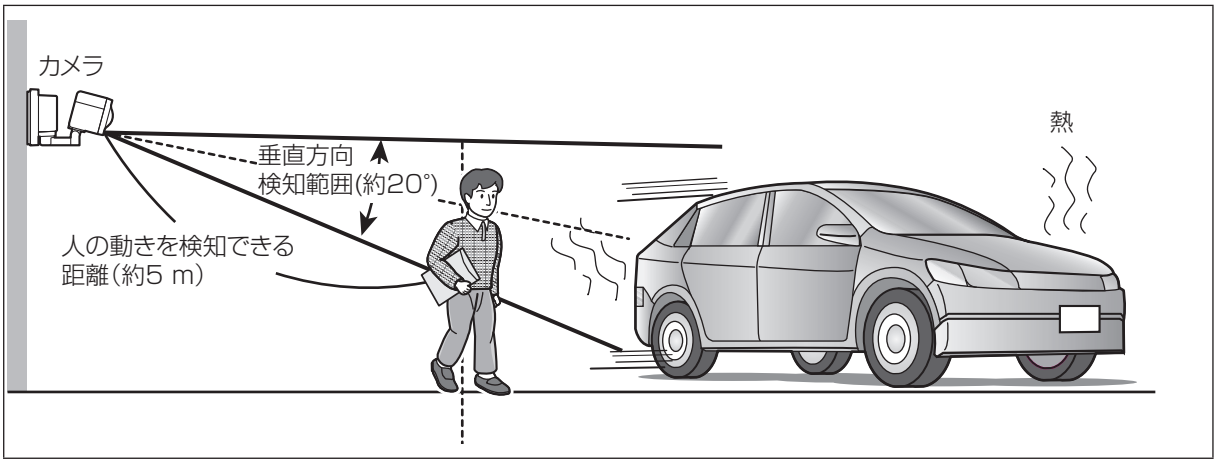
- 暗くなると検知しにくくなります。
- 動作検知機能は、動きの変化を動体の輪郭の変化と輝度変化によって検知しています。これは、太陽光などによる全体的な明るさの変化で誤って動作検知することを軽減するためです。
- 「みえますねっとHome」/「みえますねっとLite」を除き、各機器へセンサー通知するためのセンサー検知の間隔は工場出荷の状態で約1分です。検知後の約1分※は、各機器へのセンサー通知は行いません。
  ※センサー検知の間隔は「通知画面終了時間設定」で変更できます。(取扱説明書☞79ページ)

人感(熱)センサーについて

人や動物などの温度をもつものから自然に放射されている赤外線による温度変化を検知するセンサーです。

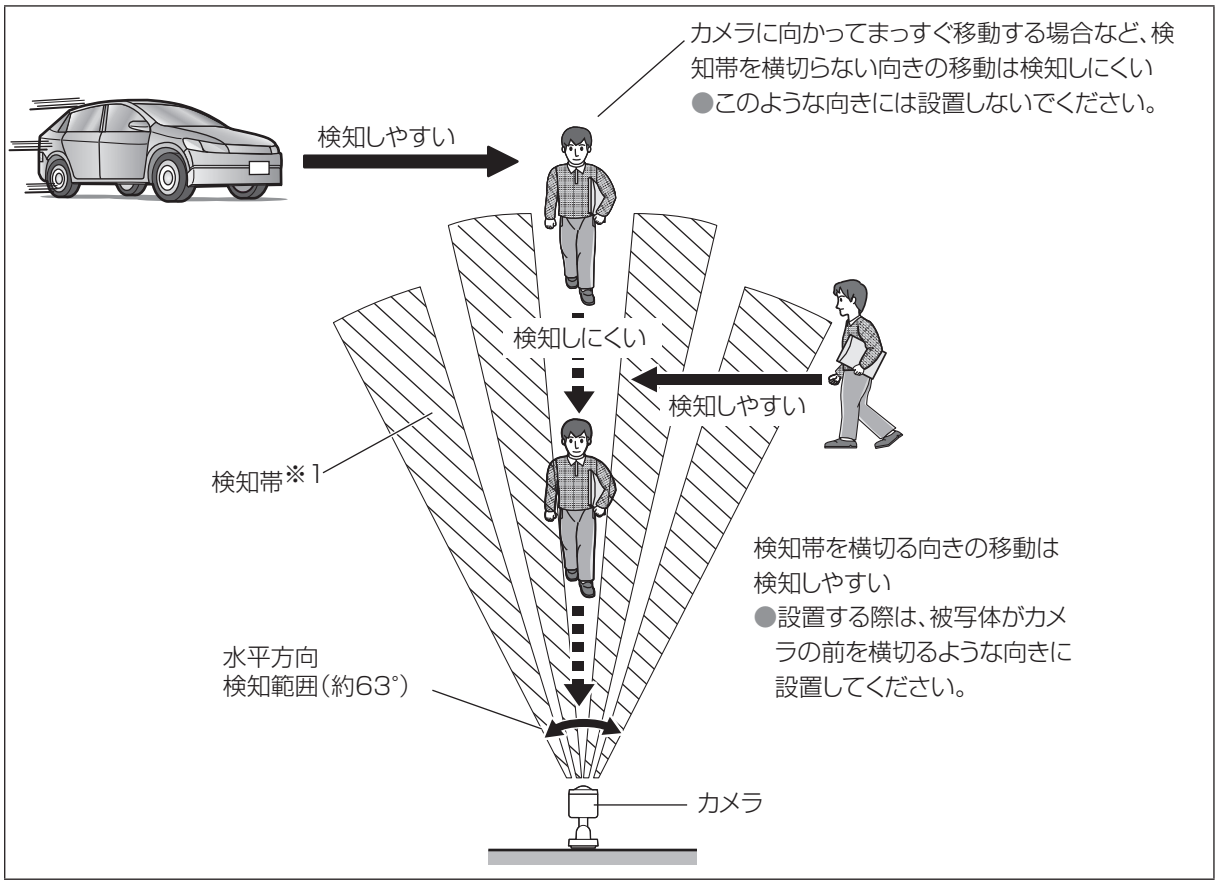
人感(熱)センサー

■ 人感(熱)センサーの検知範囲(周囲の温度が約 20 ℃のとき)



- 夏場など外気温が高いときは、被写体(人の体温など)との温度差が小さくなり、センサー検知しにくくなります。
  逆に、夜間や冬場など外気温が低くなったときは、温度差が大きくなるため、センサー検知しやすくなります。
- カメラで撮影したい方向に道路がある場合は、通行している車に反応することがあります。設置例1または2(☞ 22〜23 ページ)をご覧のうえ、カメラの撮影方向に道路がこないようにしてください。

■ 人感(熱)センサーの特性(検知しやすい向き、検知しにくい向き)(周囲の温度が約 20 ℃のとき)



● 暗いときにのみ、動作します。

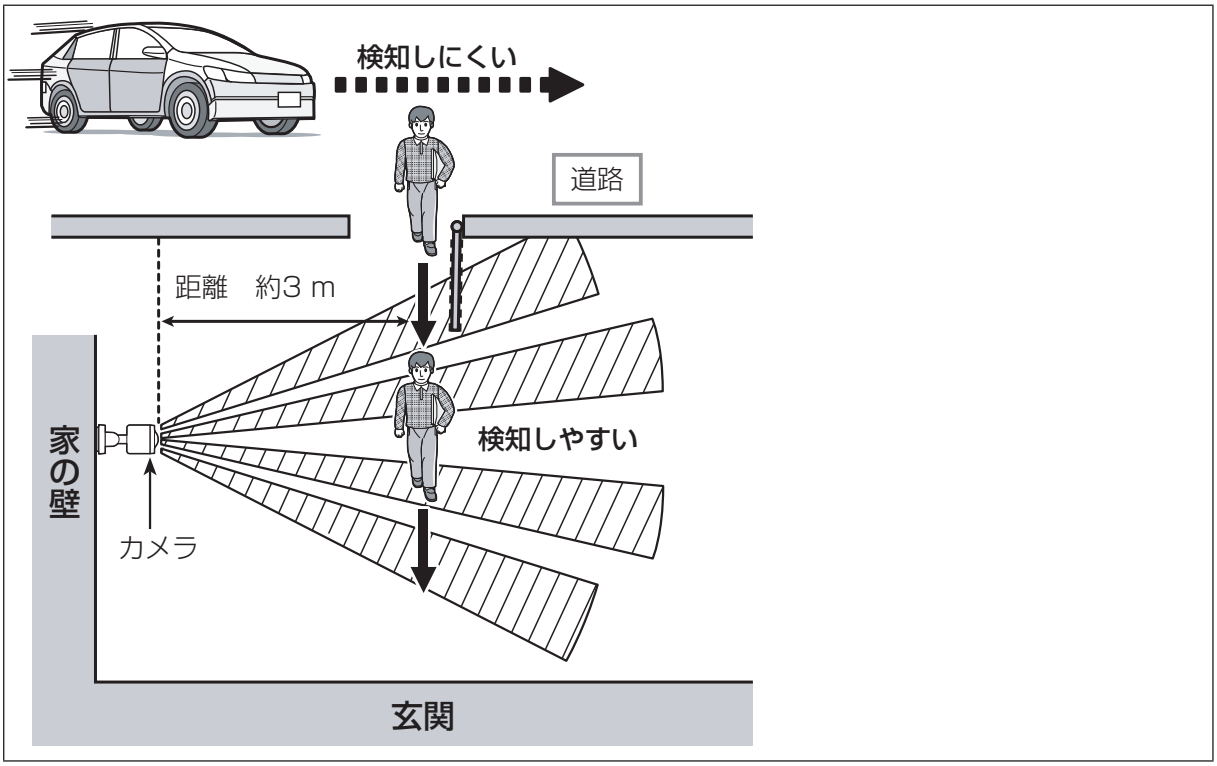
※1熱を検知する帯で、人感(熱)センサーから複数本出ています。
この検知帯域に熱源(人や車など)が出入りすると、温度変化が発生します。
センサーはその温度変化を検知して動作します。
上図の破線矢印(■■■■▶)のように、カメラに向かってまっすぐ移動すると、検知帯への出入り口が少ないために検知しにくくなります。

● 「みえますねっとHome」/「みえますねっとLite」を除き、各機器へセンサー通知するためのセンサー検知の間隔は工場出荷の状態で約 1 分です。検知後の約 1 分※2は、各機器へのセンサー通知は行いません。

※2 センサー検知の間隔は「通知画面終了時間設定」で変更できます。(取扱説明書☞ 79 ページ)

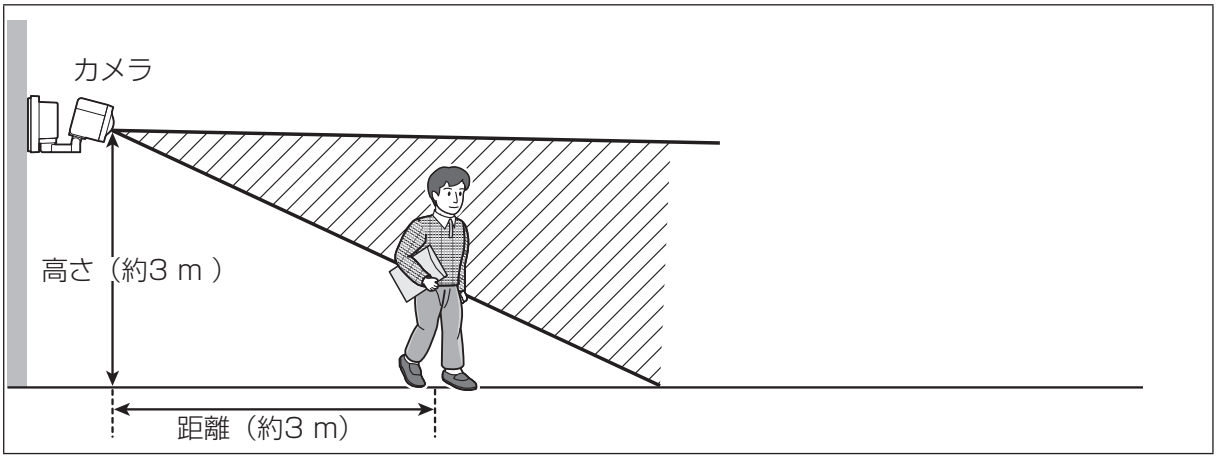
推奨する設置位置

■ 上から見た場合



門からの侵入者は検知しやすく、前の道路を通る人や車は検知しにくい
〔センサーの検知範囲を調整することもできます。(設置説明書☞33 ページ)〕
● ただし、侵入者が横向きに映りやすくなります。正面から映したいとき(☞22ページ)

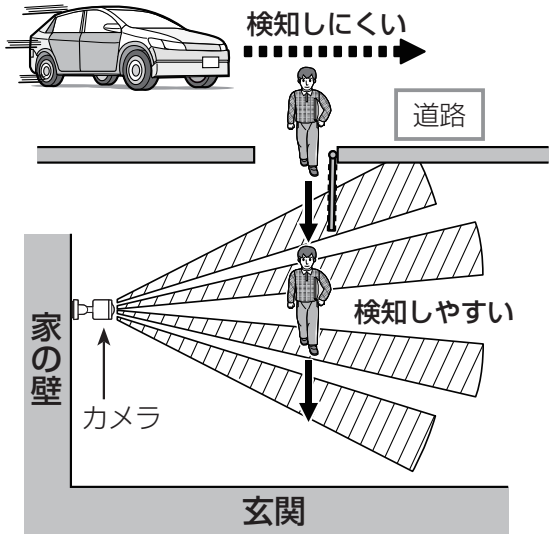
■ 横から見た場合



設置例

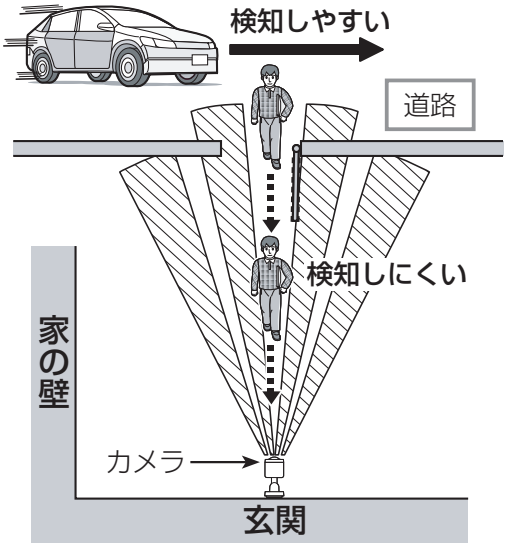
設置例1　玄関口(門)から入ってくる人を検知したいとき

良い例



門からの侵入者は検知しやすく、前の道路を通る人や車は検知しにくい
[センサーの検知範囲を調整することもできます。
(設置説明書☞33 ページ)]
● ただし、侵入者が横向きに映りやすくなります。
正面から映したいとき(☞下記)

悪い例



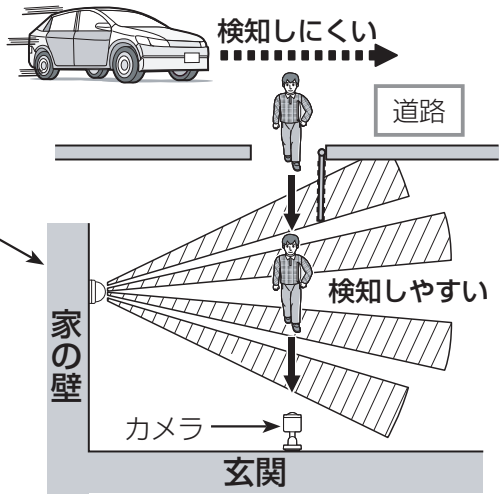
前の道路を通る人や車は検知しやすく、門からの侵入者は検知しにくい

■ 設置参考例(市販の外部人感センサーを使用する)

本機と、外部人感センサーを右図のように設置すると、門からの侵入者を検知してさらに正面から映すことができます。

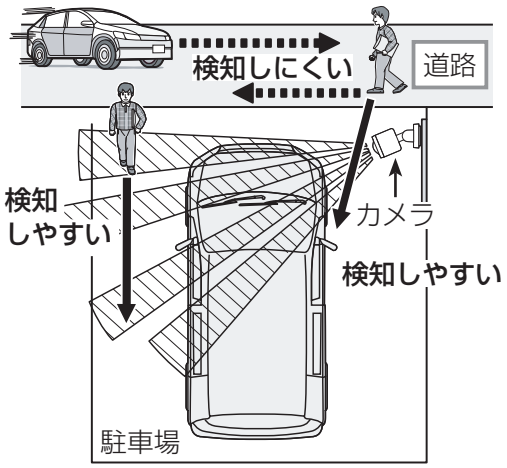
外部人感センサー(推奨品：動作確認済み)
竹中エンジニアリング(株)製
品番：MS-100A
(AC100 V配線が必要)

● 設置は、推奨品に付属の説明書に従い、確実に行ってください。
● 外部人感センサーを使用する場合、本機と接続後「センサー選択設定」の設定変更が必要です。※
(取扱説明書 ☞65ページ)
※ ただし、本機のセンサーは、はたらきません。



設置例2　駐車場の中に入ってくる人を検知したいとき

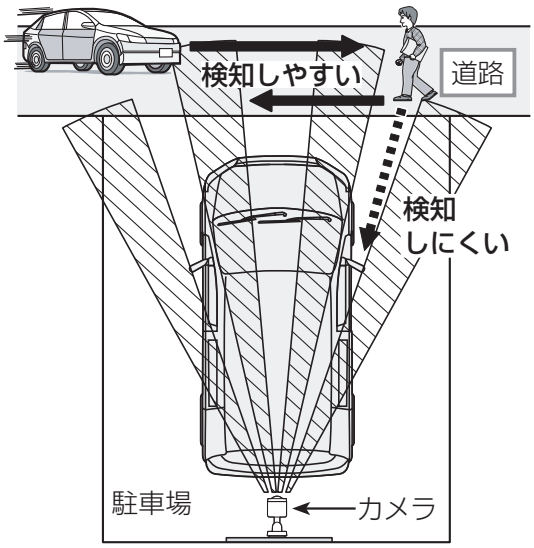
良い例



駐車場への侵入者は検知しやすく、駐車場前を通る人や車は検知しにくい
[センサーの検知範囲を調整することもできます。(設置説明書☞ 33 ページ)]

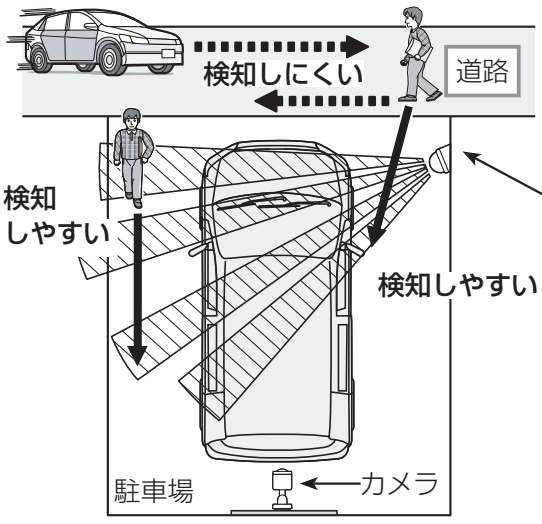
- 車高の高い車の場合は、侵入者の顔がカメラから映るようにカメラを設置してください。侵入者が車に隠れてしまい検知できないことがあります。
- ただし、侵入者が横向きに映りやすくなります。正面から映したいとき(☞ 下記)

悪い例



駐車場前を通る人や車は検知しやすく、駐車場への侵入者は検知しにくい

■ 設置参考例(市販の外部人感センサーを使用する)



本機と、外部人感センサーを左図のように設置すると、駐車場への侵入者を検知してさらに正面から映すことができます。

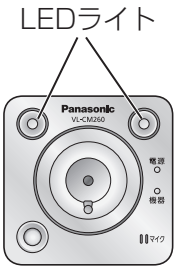
外部人感センサー(推奨品：動作確認済み)
竹中エンジニアリング(株)製
品番：MS-100A
(AC100 V配線が必要)

- 設置は、推奨品に付属の説明書に従い、確実に行ってください。
- 外部人感センサーを使用する場合、本機と接続後「センサー選択設定」の設定変更が必要です。※ (取扱説明書 ☞65ページ)

※ ただし、本機のセンサーは、はたらきません。

LEDライトの明るさについて

■ LEDライトは、センサー検知時の威嚇用です。（VL-CM260）
人などの動きを検知するとLED ライトが点灯しますが、照明用の光量はありません。
（LEDライトの光量：正面3 mで約8.5ルクス、正面から左右20°/3 mで約2.5ルクス）



明るさ、距離の違いによる画像について

次の場合は、人の顔が判別しにくくなります。
- 昼間など明るいときでも、カメラから約**3 m**以上離れたとき
  ただし、撮影時の被写体の場所（日陰・逆光・撮影角度など）によっては、**3 m**以内でも映りが悪くなり、人の顔が判別しにくくなります。
- 夕方や夜間など、周りが暗いとき（画質が低下します）
- 動いている人の撮影では画像がぶれるため、顔の判別が難しくなります。

カメラを設置する

《お願い》

- 設置は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 取り付け場所のねじ引抜強度は、1本あたり294 N（30 kgf）以上です。
- 穴を開けた部分については、必ず防水加工してください。
- カメラから送電装置までのLANケーブルの長さはVL-CM240は**60 m以内**、VL-CM260は**30 m以内**にしてください。
- 送電装置は屋内設置用です。必ず屋内に設置してください。
- 各機器に登録するときや携帯電話サービスに申し込むときに、送電装置の登録1または登録2ボタンを押す必要があります。送電装置は手の届く場所に設置してください。
- 本体にはり付けられているＱＲコードは、必ず本体からはがして、送電装置の指定の場所にはり付けてなくさないようにしてください。
- 本体とテレビドアホンを接続してお使いの場合には、設定に関するところはテレビドアホンの取扱説明書とあわせてお読みください。

カメラを取り付ける

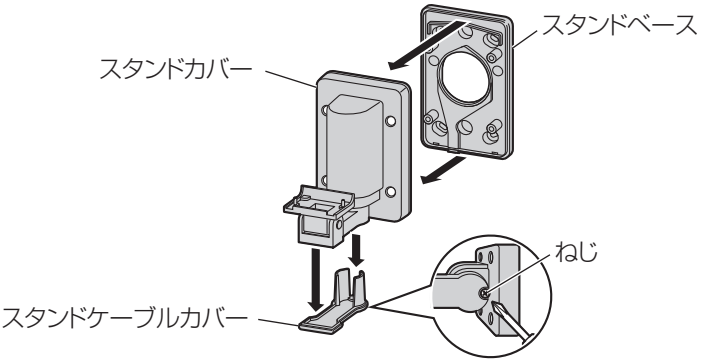
1　カメラ本体の設置場所を決める

以下の点に留意し、カメラ本体の設置場所を決めてください。

- カメラ本体の近くに熱源となるもの（給湯器、エアコン室外機など）が無いこと。（カメラ本体の近くに熱源があると、人感（熱）センサーの誤動作の原因になります。）
- カメラのアルミダイカスト部は高温になることがあります。設置時は天井および壁に接触させないでください。（天井との推奨距離：約10 cm以上）（VL-CM260）
- 人感（熱）センサーや動作検知のしくみについて、18 ～ 20 ページをよくお読みになった上で設置場所を決めてください。
- カメラを仮設置した後に動作を確認し、配線と設置を行ってください。

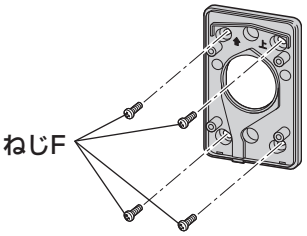
2　スタンドカバー、スタンドケーブルカバーを外す

- スタンドケーブルカバーは、ねじをゆるめて外してください。

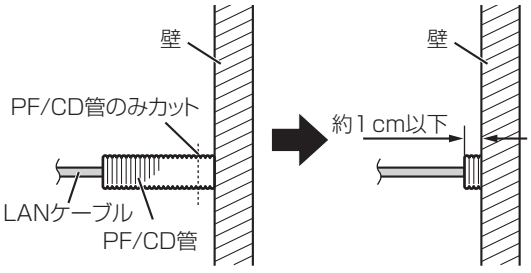


3　スタンドベースを壁面に確実に取り付ける

- ねじF（4本：4 mm×25 mm）で取り付けてください。
  （ねじAで取り付けないよう注意してください。）
  壁（モルタル・コンクリート）への取り付け例
  （☞27 ページ）



- PF/CD管などを使用している場合は、PF/CD管が取り付け面より約1 cm以下程度の出っ張りとなるよう処理してください。



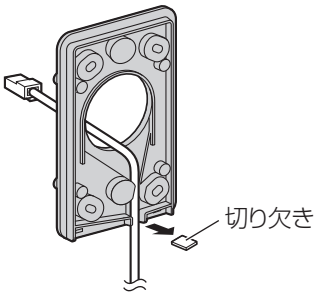
■ スタンドの下部より屋外用LANケーブル(市販品)を通して配線する場合

● スタンド背面の切り欠き部分を折り、配線してください。

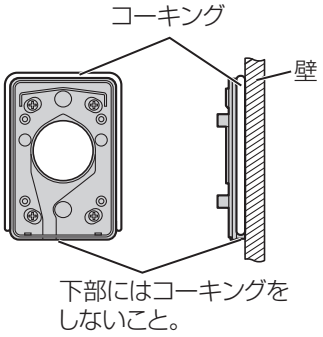
《お願い》

● 製品の故障の原因になりますので必ず市販の屋外用LANケーブルまたは別売の屋外設置用ケーブルキットをご使用ください。(取扱説明書 ☞ 89ページ)

スタンド背面

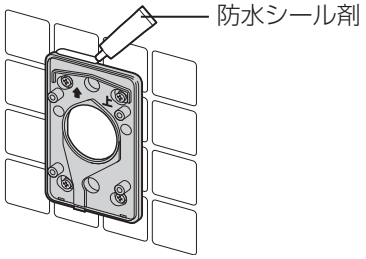


4　スタンドベースをコーキングする



⚠ 注意

スタンドベースは「 ⬆上 」の表示が上側になるように取り付け、取付面についてはスタンドベース下部以外を防水シール剤などでコーキングし、すきまを埋める

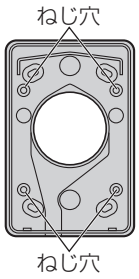


防水が不完全な場合、機器の故障や設置する家屋の壁中に水が浸入する原因になります。

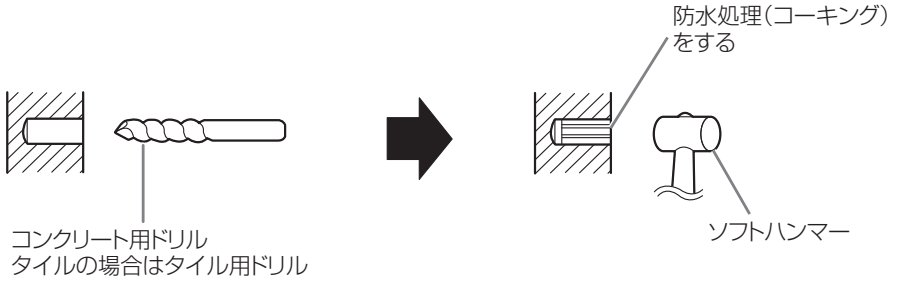
■ 壁への取り付け例

(例)材質がモルタルやコンクリートの場合
設置したい位置が決まったら、市販のドリルと専用のアンカー(ねじの呼び径4.0 mm)を用意し、以下の手順を参考に穴をあけてください。

❶ スタンドを設置したい位置に合わせ、ねじ穴から印を付ける(4カ所)
❷ 安全ワイヤーをたるませて取り付けられる位置に印を付ける(1カ所)
❸ 印に合わせて下の図のようにドリルで穴をあけ、アンカーを差し込み、ソフトハンマーなどで軽くたたく



1. アンカーのサイズに合わせて、穴をあける
2. アンカーを差し込む(ソフトハンマーで軽くたたく)

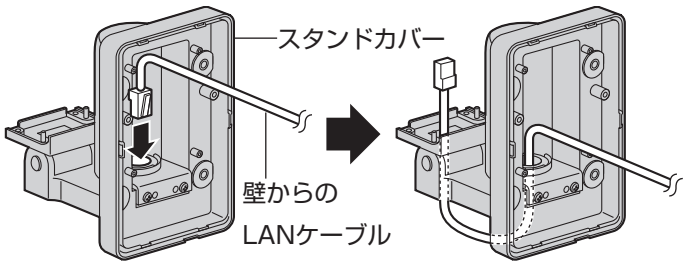


❹ **カメラを設置する**

《お願い》
- 壁にあけるドリルの径の大きさは、用意したアンカーの説明書を参照してください。
- 工事は販売店もしくは施工業者に依頼されることをお勧めします。壁への穴あけ工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- モルタル塗壁の場合は、穴あけにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴あけをしてください。

5 LANケーブルを通す

- LANケーブルをスタンドカバー中央の穴に通し、スタンドカバーの外に出してください。
- コネクターがついていないLANケーブルを使用する場合は、配線中継ユニット (付属品) を使用することをお勧めします。
(☞ 下記)

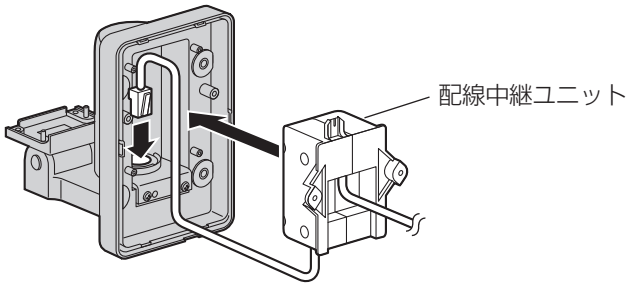


■ **配線中継ユニットを使用する場合**

配線中継ユニットを使用する場合は、配線中継ユニットの組み立て説明書に従って結線を行ってください。配線中継ユニットと送電装置はストレート結線してください。配線例については(☞ 31 ページ)

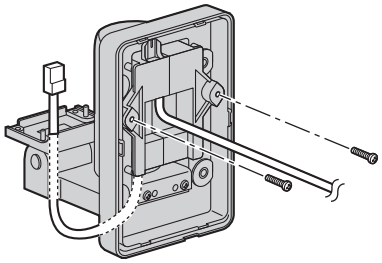
❶ **LANケーブルを通す**

- LANケーブル(市販品)をスタンドカバー中央の穴に通し、スタンドカバーの外に出してください。



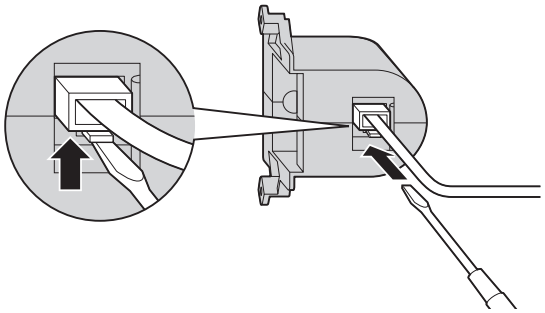
❷ スタンドカバーに配線中継ユニットを取り付ける

● 配線中継ユニットに付属のねじ(2本)で2ヵ所固定してください。
(推奨トルク0.6 N・m {6.1 kgf・cm})



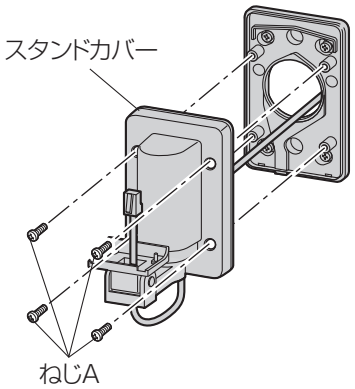
取り付けが完了したら、手順6に進んでください。

● LANケーブルを取り外す場合は、マイナスドライバーなどを使って取り外してください。



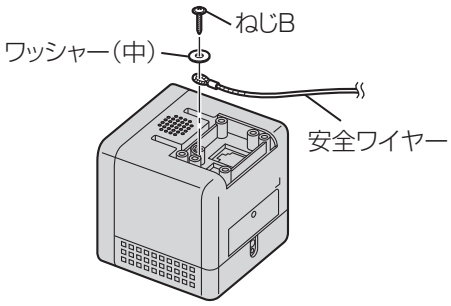
6 スタンドカバーをスタンドベースに取り付ける

● ねじA(4本：4 mm×20 mm)で4ヵ所固定してください。
(推奨トルク0.8 N・m {8.2 kgf・cm})
(ねじFで取り付けないよう注意してください。)



7 カメラに安全ワイヤーを取り付ける

● ねじB(1本：2.6 mm×10 mm)とワッシャー(中)で安全ワイヤーを取り付けてください。(推奨トルク0.6 N・m {6.1 kgf・cm})



8 (外部入力機器がある場合のみ)配線材を接続する

❶「センサー選択設定」の設定を確認する(取扱説明書 ☞ 65 ページ)

❷「外部入力端子」に配線材を接続する

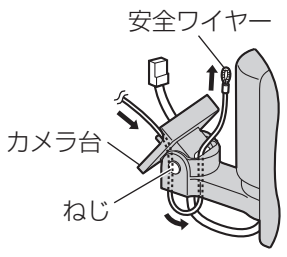
● 外部センサーを使用する場合は、センサーを外部入力端子に接続してください。
「外部入力端子について」(☞ 33 ページ)に従って正しく接続してください。

● 配線材の抜き差しは、各端子の上にあるボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。

9 安全ワイヤーを下図のようにスタンドの穴から出す

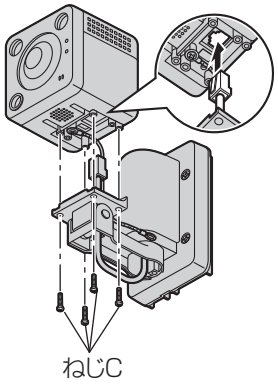
● スタンドカバーのカメラ台のねじをゆるめ、カメラ台を図のようにかたむけ安全ワイヤーを通してください。

● 安全ワイヤーを通したあとは、カメラ台を元の位置に戻し、再度ねじを締め固定してください。



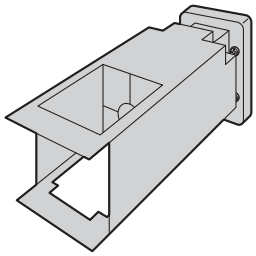
10 LANケーブルをカメラに接続し、スタンドに取り付ける

- ねじC（4本：3 mm×12 mm）で取り付けてください。（推奨トルク0.8 N・m {8.2 kgf・cm}）
- LANケーブルを接続するときは、「カチッ」という音がするまで差し込んでください。



11 画角確認用カバーを取り付ける

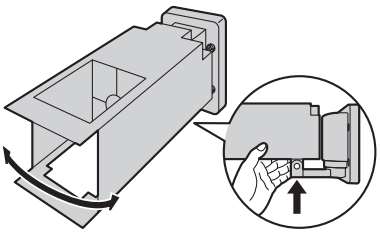
- 画角確認用カバーの作成のしかたや確認のしかたは、画角確認用カバーをご確認ください。
- 本カバーは簡易的な画角確認用です。最終的な画像範囲の確認は実際の画像で行ってください。



12 画角確認用カバーを使ってカメラの角度を調整する

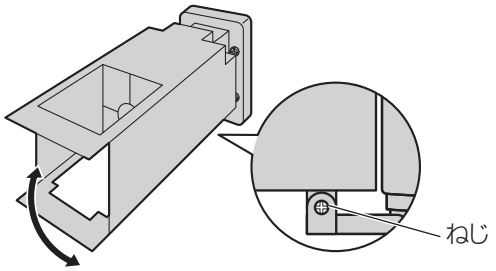
■ 左右方向の角度を調整する場合

- カメラ本体を図のように持ち上げながら、左右方向の角度を調整してください。



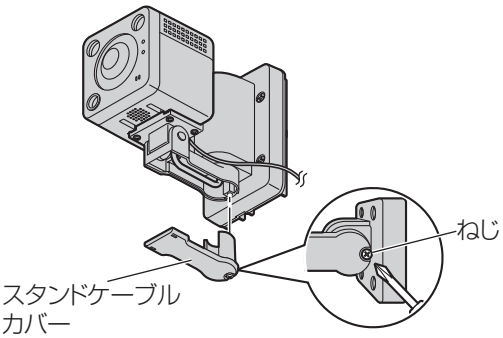
■ 上下方向の角度を調整する場合

- スタンドカバーのカメラ台のねじをゆるめて上下方向に角度を調整後、ねじを締めてください。
- 上下方向の角度が固定されます。



13 設置角度が決まったら画角確認用カバーを外し、スタンドケーブルカバーのねじを締め固定する

- 左右方向の角度が固定されます。
- LANケーブルがあまるときは、スタンド側に戻してください。



14 壁に安全ワイヤーをたるませて、ねじFで取り付ける

- 壁の材質がモルタルやコンクリートの場合は、アンカーを使用し、確実に固定してください。（☞ 27 ページ）

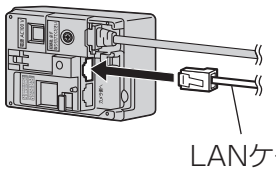
《お願い》

- スタンドにぶらさがったり、カメラ以外のものを固定しないでください。

屋内側のケーブル配線

1　各機器とハブまたはルーターをLANケーブル(市販品)で接続する

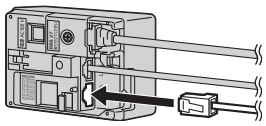
2　送電装置の「LAN」端子とハブまたはルーターをLANケーブル(市販品)で接続する



LANケーブル

- 「カメラ側へ」端子には接続しないでください。
- 接続の全体図は5ページの接続例を参照してください。
- 送電装置は、壁掛け金具を使用して固定することもできます。
- 各機器に登録するときや携帯電話サービスに申し込むときに送電装置の登録1または登録2ボタンを押す必要があります。送電装置は手の届く場所に設置してください。
- 携帯電話で使用する場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 各機器と送電装置の「LAN」端子を直接LANケーブルで接続して使用することもできます。

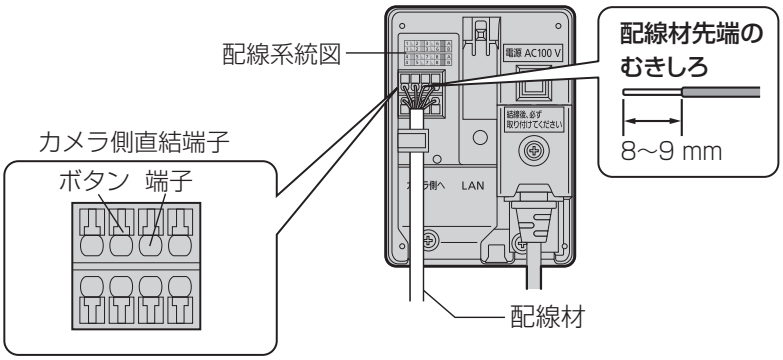
3　カメラからのLANケーブル(市販品)を、送電装置の「カメラ側へ」端子に差し込む



■ コネクターがついていないLANケーブルを使用する場合

背面の配線系統図に従ってカメラ側直結端子に正しく接続してください。

- 配線材の抜き差しは、各端子のボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。



《お願い》

- 電源線(AC100 V など)は、絶対に接続しないでください。故障の原因になります。
- 「カメラ側へ」端子とカメラ側直結端子は同時に使用しないでください。
- 配線材の線種は「単芯線」を使用してください。
- 直結端子を使用する場合は、床置きなどは避けてください。

配線中継ユニットと送電装置はストレート結線してください。

配線例

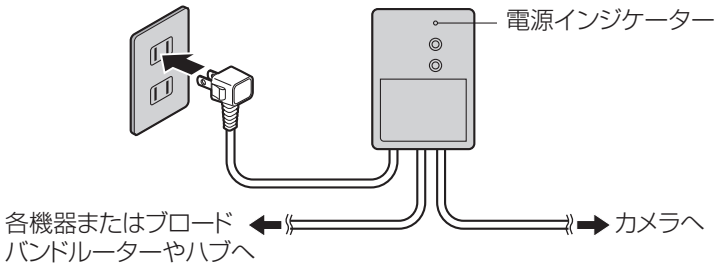
● 下記はTIA/EIA-568-A規格に従った配線例を示しています。

配線中継ユニット	
1	白 / 緑
2	緑
3	白 / 橙
4	青
5	白 / 青
6	橙
7	白 / 茶
8	茶

送電装置	
1	白 / 緑
2	緑
3	白 / 橙
4	青
5	白 / 青
6	橙
7	白 / 茶
8	茶

4　電源コードのプラグをコンセント(AC100 V)に差し込む

● カメラが起動します。
● AC100V電源線を直結する場合は、「送電装置の取り付け方法」(☞ 下記)を参照してください。
● カメラが起動し、送電装置の電源インジケーターが緑に点灯することを確認してください。

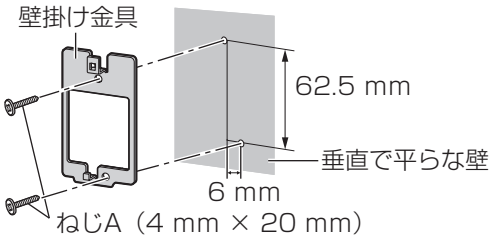


《お願い》

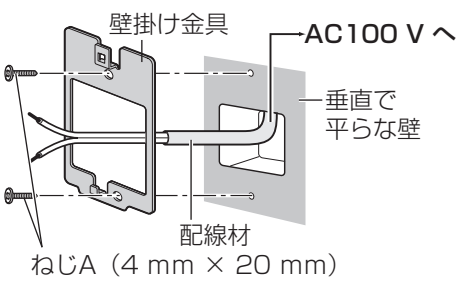
● 電源コードのプラグは全ての接続、設置が完了してからコンセントに差し込んでください。

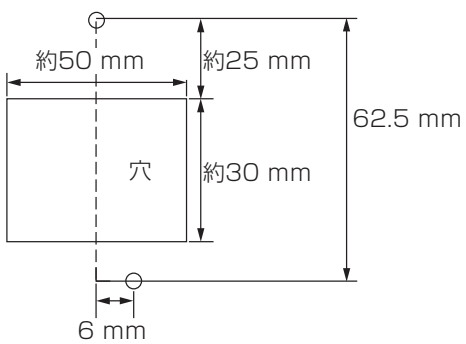
送電装置の取り付け方法

1　付属の壁掛け金具を壁面に確実に取り付ける



■ 壁に穴をあけて配線する場合

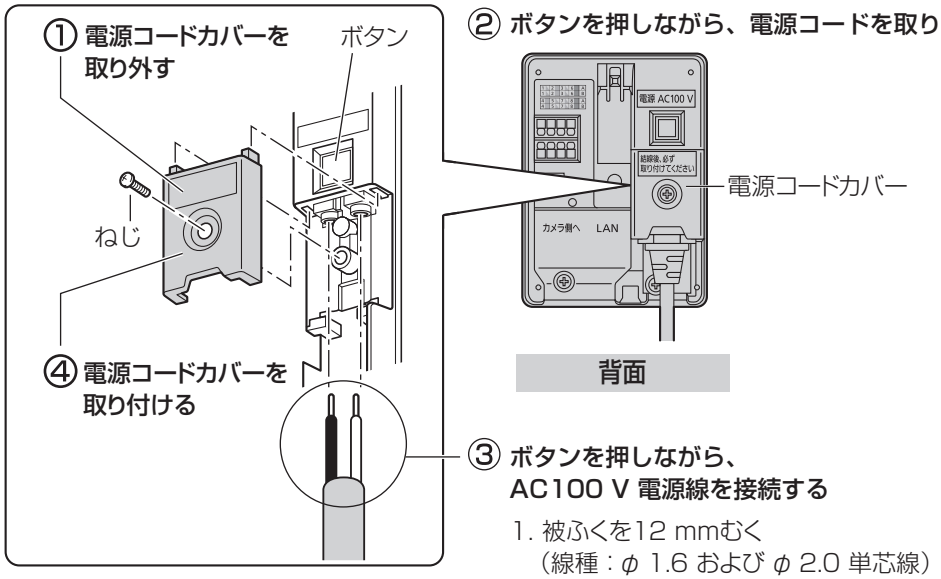




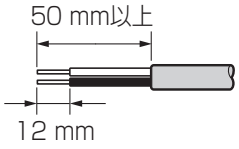
2 【AC100 V 電源線を直結する場合のみ】

電源線を接続する 電気工事士の資格が必要

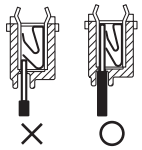
● 配線は必ず電源をブレーカーなどで遮断した状態で行ってください。



1. 被ふくを12 mmむく
（線種：ϕ 1.6 および ϕ 2.0 単芯線）

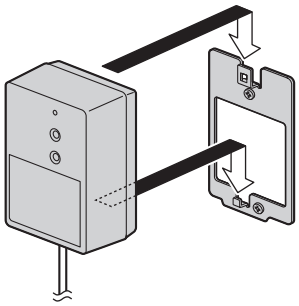


2. 奥まで確実に差し込む



〈AC100 V 電源線接続端子断面図〉

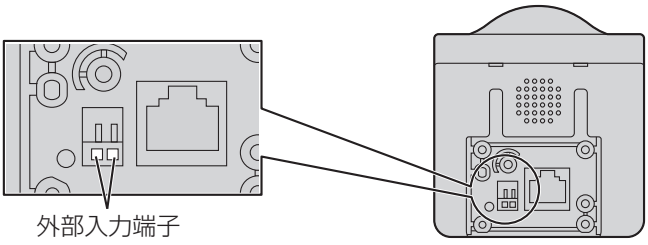
3 送電装置を取り付ける



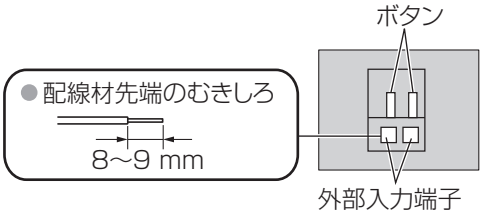
外部入力端子について

外部入力端子があります。必要に応じてご利用ください。

- 利用する前にカメラの「センサー選択設定」メニューの設定を「外部センサーを利用する」に変更してください。（取扱説明書 ☞ 65ページ）
- 端子への接続は、電源を切った状態で行ってください。
- カメラをスタンドに設置している場合は、スタンドから外した状態で行ってください。



- 配線材の抜き差しは、各端子のボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。



■ 外部入力端子

本機の人感(熱)センサーと動作検知を使わず、下記のような外付けの人感センサーやコールボタンを使うときに使用します。

外部人感センサー(推奨品：動作確認済み)

竹中エンジニアリング(株)製	品番：MS-100A（AC100 V 配線が必要）

- 設置は、推奨品に付属の説明書に従い、確実に行ってください。
- この端子に機器を接続したときは、カメラの「センサー選択設定」メニューの設定を「外部センサーを利用する」に変更してください。(取扱説明書☞ 65 ページ)
  本機の人感(熱)センサーおよび動作検知は、動作しなくなります。

【外部入力端子の仕様】

端子を短絡すると検知します。(a接点)
開放時電圧：約3 V
短絡時電流：約0.6 mA(短絡/開放 連続0.2 秒以上で検知)

【線種と配線距離】

下表の線種・配線距離以外で使用されると、動作不良の原因になります。

配線区間	外部入力端子～接続機器
線種	単芯線(mm)：φ0.32～φ0.64
配線距離	接続する機器の仕様に従う(ただし、20 m 以内)

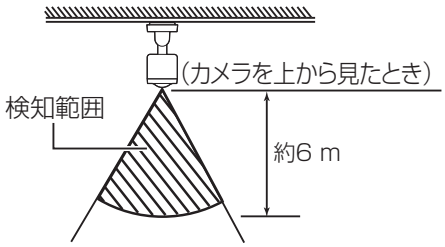
動作検知および人感(熱)センサーの感度について

動作検知の場合

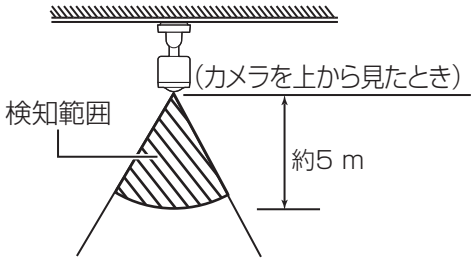
小さな動作を検知したい場合や過度に検知したくない場合などに調整します。

- 検知範囲は、あくまでもめやすです。
  被写体の明るさや設置環境により検知範囲が変わります。

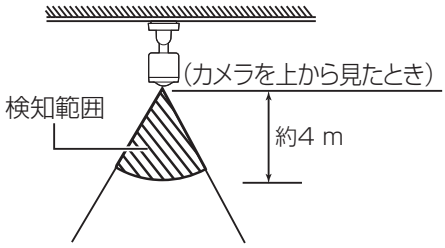
■ 感度設定が「高感度」の場合



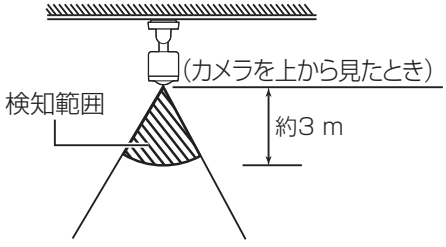
■ 感度設定が「標準」の場合



■ 感度設定が「低感度」の場合



■ 感度設定が「超低感度」の場合



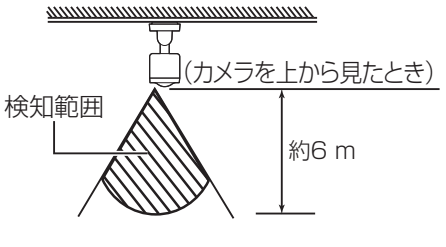
人感 (熱) センサーの場合

カメラ本体の「人感(熱)センサー感度設定」を変更することにより(取扱説明書☞ 65 ページ)、以下のように検知範囲が変わります。

- 検知範囲は、あくまでもめやすです。
  カメラ設置場所の周囲温度や環境により検知範囲は変わります。

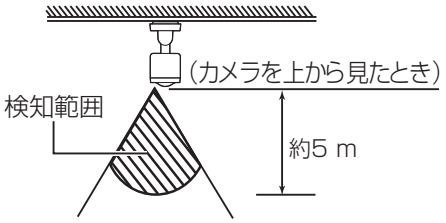
〔周囲温度：20 ℃のとき〕

■ 感度設定が「高感度」の場合

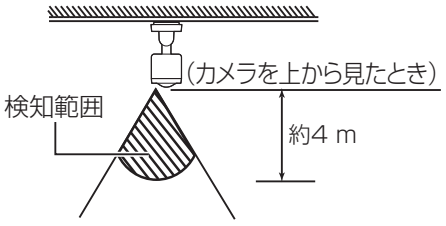


- カメラ設置場所の環境によってセンサーの感度を上げないと使用できないときに設定してください。
- この設定にすると、風や撮影範囲外で反応しやすくなります。

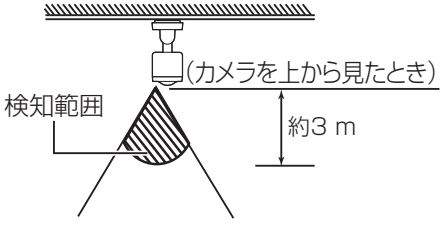
■ 感度設定が「標準」の場合



■ 感度設定が「低感度」の場合

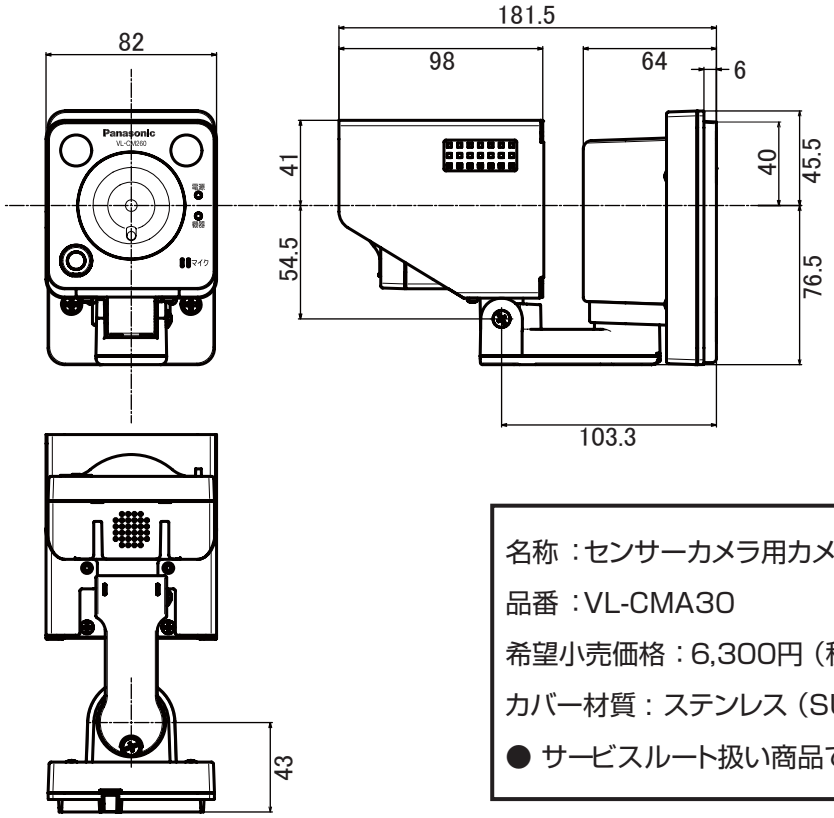


■ 感度設定が「超低感度」の場合



VL-CM240/VL-CM260 カメラ本体+スタンド+センサーカメラ用カメラカバー外観図

（カメラ本体は、VL-CM260を代表として記載）



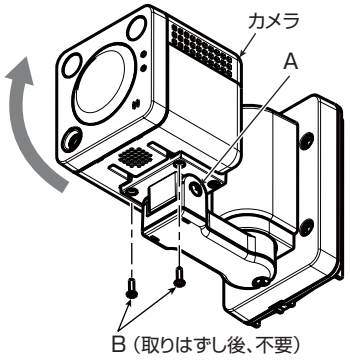
単位［mm］

名称 ：センサーカメラ用カメラカバー
品番 ：VL-CMA30
希望小売価格：6,300円（税抜 6,000円）
カバー材質：ステンレス（SUS304）
● サービスルート扱い商品です。

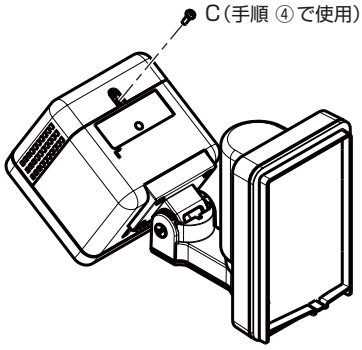
●センサーカメラ用 カメラカバー取付手順（適用機種：VL-CM240/VL-CM260）

お願い：このカメラカバーは薄い金属でできています。お取り扱いの際は、手を切らないよう十分にご注意ください。

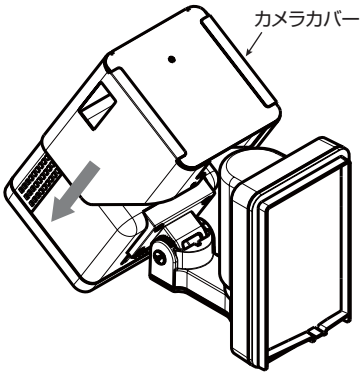
① ネジAを緩め、カメラを水平状態まで起こして、ネジB（2本）をはずす



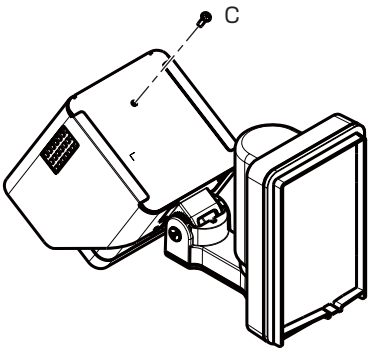
② カメラを倒して、ネジCをはずす



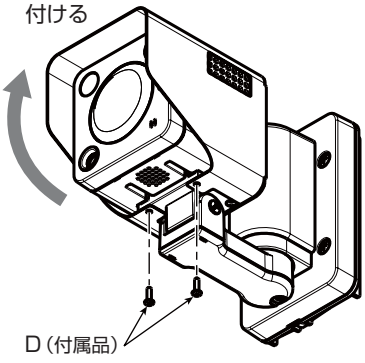
③ カメラカバーをカメラに取り付ける



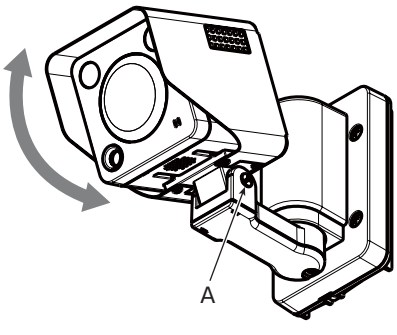
④ ②で取りはずしたネジCで、カメラとカメラカバーを固定する



⑤ カメラを水平状態まで起こして、付属のカメラカバー専用ネジD（2本）を取り付ける



⑥ カメラを任意の角度に調整し、ネジAを締めて固定する



別売品　センサーカメラ用カメラカバー 品番：VL-CMA30	品名	センサーカメラ	品番	VL-CM240/VL-CM260	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2010年6月	変更		追補